京城日報

廿七日夕刊

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直
印刷人 小川三之介

總督訓示
司法官會同に於て

茲に各位を會し司法事務に付詳細の狀況を聽取し且之に對する所見を開示することを得るは本總督の欣幸とする所なり

司法機關は行政機關と系統を異にし職務上殊別の畛域を有するを以て其の干犯を容さざるのみならず社會に對しても卓然として獨立し至公至嚴威武も屈する能はず富貴も淫する能はざるを本分とす故に任に司直に在る者此の精神を以て所信を斷行し司法の眞價を發揮するの氣慨なかるべからずと雖其の職に忠に其の務に熱するの餘り自己の立脚地を固執し毫も他の便否を顧慮せざるが如きことあらむか他機關との融和を缺ぎ延て一般政務の進行を阻害するの虞なきを保せず抑司法と行政とは固より其の作用を異にすと雖邦家の隆昌を企圖し民衆の福利を增進するに於て共に其揆を一にす之を以て行政は司法の嚴正に依て克く所期の治績を擧げ司法は行政の化成に據て克く完全なる效果を收むべく兩者其の處分に扞格牴悟を生ずるが如きは決して本來の目的に副ふ所以に非ざるなり故に司法官たる者は常に立國の大本と施政の方針とに鑑み事に當りて其の宜しきを制し法規の許す範圍內に於て政務の進捗に資するの覺悟あるを要す顧れば本府始政以來既に五年有半の星霜を經此の間荒廢を振興し積弊を釐革し諸般の經營略其の緒に就けるも朝鮮統治の進程より之を觀れば纔に創業の基礎を確立し得たるに過ぎず更に將來の大成を圖らむとするには官民上下の協力一致に俟つべきもの頗る多し是を以て曩に諭告を發し既往の實績を敍べ今後に於ける經營の方針を示し一般の覺醒發憤を促したり各位は宜しく其の旨趣を體し他の行政機關と連絡を保持し相倚り相輔け斷じて意思の支吾なきを期すべし又司法事務の取扱上日常遭遇せる社會各般の事項にして苟も施政の參考と爲るべきものは既往に於ける事蹟たると將來の施設を促すべき資料たるとを問はず勗めて之が具報進言を怠らず以て施政の改善に貢獻せんことを期すべし今回の會同に於て司法事務に顯はれたる一般施政の參考と爲るべき事項に關し答申を求めたるも畢竟此の意に外ならず今や歐洲の大戰は終熄何れの時にあるやを知らず隣邦の動亂亦漸く熾ならむとし是等戰亂の影響に因り社會上及び經濟上幾多の變動を生じ其の結果當に行政事務のみならず司法事務に於ても注意を要すべき事項亦尠少にあらざるべし各位は時局に對應して職務の遂行を完うし民衆の生命財產の安固を確保するに於て遺憾なきを期すべし

民刑訴訟及び非訟事件は比年著しく其の數を增加する趨勢にあり之か爲裁判所の事務倍蓰繁劇となり職員の負擔愈過重となれることは本總督亦之を諒とする所なるも我財政は方に獨立計畫の中途に在り殊に時局の影響を蒙り頗る緊縮を要するのみならず產業の開發富源の涵養に關し新に施設を必要とする事業相踵で生じ國費の多端なる各位の要望を容れ遽に增員を行ふの餘裕なきを遺憾とす故に此の際偏に職員の恪勤精勵に依るべきは勿論なれども一面執務の方法を刷新し努めて其の簡捷を圖り處理の敏活を期せざるべからず蓋し司法事務の執行に關しては精細なる法規の拘束を受くるが故に其の行動の範圍は他に比し自ら狹少なるを免れ難しとするも此の間に於て猶繁文を去り縟禮を省き改善を加ふるの餘地亦鮮からざるべし各位は宜しく無用の形式を避け執務の進捗を期し其の實績を收むることに留意すべし若其事務の簡捷を圖るが爲特に法規の改廢を緊要とする事項あらば進んで其の所見を開申するの注意あるを要す

凡そ獄を斷ずるは最も公正嚴明なるべしと雖も亦宜しく哀矜の心を以て慎問熟慮事案の眞相を探究するに努めざるべからず若事功を樹つるに急にして或は審理を輕忽にし或は思慮の平靜を失し因て無辜を罰し奸邪を逸するが如きことあらば獨り人民の休戚に關する所多大なるのみならず裁判の威信を失墜すること尠少にあらず幸にして司法制度創設以來職員の警戒努力に依り殆んど斯る事例あるを聞かず世人の裁判所に對する信賴甚だ厚きを見ると雖も若し之に馴れて逸豫懈怠の念を生ぜば禍因茲に萌し延て重大なる錯誤を惹起することなきを保し難し殊に通譯を介し風俗習慣相同じからざる者を審判する場合に於ては意思の徹底を缺ぐこと多く誤判の危險一層大なるものあり今に於て牖戶を綢繆するの要最も切なるを覺ゆ各位は宜しく部下職員と共に自警自省人を觀る明に事を斷ずる平にして恆に裁判の正鵠を失はざることを期すべし

罪を糺し刑を科する所以のものは犯人を懲治して再び刑辟に觸れしめざると共に公衆を警戒して犯行を未然に防止するに在り然るに近時刑罰愈嚴くして犯罪益多く殊に累犯者亦漸く增加の傾向を見るは刑政上寒心に堪へざる所にして本會同に於て累犯防遏の施設如何を諮詢し意見を徵せるは深く此の趨勢を憂慮するが爲に外ならず是れ各位の亦應に其の感を同ふする所なるべし惟ふに累犯の防遏は刑事政策中最も緊切にして而かも至難の業に屬し感化救濟其の他出獄者の保護に關する社會制度の充實に俟つこと多きも主として行刑の效果に由らざるべからず然れども元來犯罪の糺彈處刑は司法官の司掌する所に係り刑罰の執行は一に裁判の內容に依準して之を爲すものなれば行刑の適實ならむことを欲せば須らく先づ刑種及刑期裁量を適正ならしめざるべからず之を以て犯人の性格、被害の程度、犯罪の原因其の他諸般の情狀を精查考覈して懲治警戒に適當なる裁判を爲すの要特に切なるものあり各位は叙上の趣旨を體し自今一層犯罪を減滅し累犯を防遏するの目的を貫徹せむことに努むべし

近時社會の風潮漸く輕薄浮華に傾き奢侈放逸に流れんとするを見るは洵に憂慮に堪へざる所なり斯の如きは時運の進展民度の向上に伴ひ往々釀生する弊習なるを以て其の未だ瀰漫せざるに先ち之が防塞の途を講ずるにあらざれば遂に汎く人心に浸潤し流毒の及ぶ所實に測るべからざるに至らむとす本總督が平素彝倫綱紀の維持を嚴勵し勤勉力行の氣風を鼓吹する所以のもの實に斯民の此の弊を拯濟し恒產あり恒心ある忠良の臣民たらしめむとするに外ならず各位亦克く此の意を體し民刑裁判の結果風敎に及ぼすべき影響如何を考察し以て民風の肅清に資する覺悟あるを要す官紀の振肅は本總督の夙夜顧念措く能はざる所にして從來之に關し訓諭したること曾に一再に止まらず苟も立つる既に陳しと謂ふべし然れども職員中猶時に非違の行爲を敢てし官紀を紊す者ありて之か振肅を促すの必要目に新なり本總督の切切訓示を反覆する所以のもの亦已むを得ざるに出づ監督官たる各位は特に深く此に留意し率先躬行範を示すと共に部下の監督を嚴にし以て官吏たる本分を全うするに於て遺憾なきを期すべし

◎南京會議の成行
袁總統退職問題＝結局纏らず

南京會議の報道區々なるも某公使館及び支那政府著電を綜合するに二十三日迄に四回開會され大體馮將軍提出の八條件の承認を得たるも袁總統の退職問題に就ては即時退職を希望せる湖南山東代表は暫時留任說を認めず殊に山東代表は同省の形勢危急にして到底姑息の解決に從ふ能はずと論じ結局纏りたる決議とならず馮將軍は會議の傾向を北京南方兩政府に通じ妥協の一步を進めんとし居るが如し(北京特電)

◎袁總統退職決議
南京會議に於て滿場一致可決

二十五日南京會議四回目の會議に於て倪嗣冲は最後の演說を試みたり張勳の代表者も出席し同會議に出席せる各省派遣員は滿場一致を以て袁總統退職の必要なるを決議したり袁總統は此の點に關し獨立を宣布したる諸省と協議を希望すれども諸省は袁總統が速に退職の日時を決定せざる限り袁總統と協議を拒絕せり(上海特電)

◎四川省大官の任命

北京政府は策令を以て陳宦に即刻上京を命じ重慶鎭守使周駿を周武將軍に任じ四川事務署理となし曹錕を四川防務督辦に劉體乾を巡按使署理に任命したり(上海特電)

◎米支大借款の行悩

支那全鐵道を擔保として提供すべき條件の下に進行中なりし米支大借款は行悩みに陷れり(東京電報)

◎機器局襲擊さる

機器局は廿六日夜革命軍の爲めに襲擊されたり(上海電報)

◎濟南の兩軍衝突

濟南來電に據れば去る二十五日夜北軍南軍は當地に於て衝突し危險を極めたりと(東京電報)

◎孫濰縣に入らん

孫逸仙は山東省に於ける革命軍統一の爲め濰縣に入るべし(東京電報)

◎獨軍のド要塞奪回か

獨逸バヴァリア軍はドーモン砲臺を奪回せりされど佛軍は勇戰死守し今尚ほ去る二十二日以後前進せる諸陣地を占領し居れり(倫敦電報)

◎アルバニアの伊軍攻勢

サロニカ來電に依れば伊太利軍はアルバニアに於て攻勢を取りアヴロナ東南に於て墺軍を攻擊しベラットの東北に前進中なり(倫敦電報)

◎海軍記念日祝賀

廿七日は日露戰爭に於て我聯合艦隊の露國東洋艦隊を全滅したる第十二回海軍記念日に相當するを以て各鎭守府各艦隊海軍各官衙其他海軍一般に休暇を與へ築地水交社に於ては東宮殿下各皇族殿下を首め奉り元帥以下各將星參集し盛大なる祝賀會を開催せり(東京電報)

◎經濟調查幹事會

經濟調查會幹事會は廿七日午前九時より開催し議案其他に就き協議する所ありたり(東京電報)

◎工場法施行如何

樞密院は工場法施行令に關し其撤回を內閣に交涉したるを以て六月一日の施行期は延期するの外無きも本法の施行は現政策の一端にして樞府若し之れを固執せば罰則削除を敢行す可しと(東京電報)

◎盜難保險開始

日本火災保險會社にては盜難保險事務を開始せりと(東京電報)

◎銅價暴落と軍器

銅價暴落せり是れ軍器の製造一段落を告げたる結果なり(東京電報)

◎戰史旅行團一行

河合中將の率ゆる陸軍大學生戰史旅行團一行七十名は二十六日夕刻本溪湖より奉天著二十七日朝水路義州に赴き統軍亭にて鴨綠江戰に關する講話あり夕刻引き返し二十八日朝七時二十分發の列車にて平壤に向ふ筈なり(安東特電)

◉總督邸晩餐會

寺內總督は二十七日午後七時より司法官會同の爲め入京中なる司法官一同を官邸に招待、晩餐の饗應あり總督府內各部長官、局長、所屬官署々長、關係各課長等出席す

◉總督茶菓饗應

寺內總督は二十七日午後八時より司法官會同列席者以外の司法官を官邸に招き茶菓の饗應あり

◉總督總監臨場

寺內總督、山縣政務總監は二十七日午前十一時總督府出門漢江架橋工事起工式に臨場せり

◉昌德宮午餐會

李王殿下は二十八日晝時より寺內總督、山縣政務總監を昌德宮に招待午餐會を催さるゝ趣なるが國分司法部長官以下司法官會同列席の司法官一同も參列の筈なり

◉司法官會同(第六日)

司法官會同第六日は前日に引き續き二十七日午前九時より總督府第二會議室に開催、各司法官は勿論、寺內總督、山縣政務總監、各部長官局長、關係各課長等出席し寺內總督の訓示及び指示ありて午前十一時散會したり

◉海軍記念日と講演

▲在鄉軍人會講演 在鄉軍人京城分會にては本日午後三時より南山本願寺に於て海軍記念祝賀を兼ね恆例懇話會を開き總督附武官[illegible]砲兵大佐出席歐洲戰亂に關する講話をなせり

▲中學校講演 本日午後一時より總督附武官森海軍少將は中學校に赴き海戰記念として日本海々戰其他に關する軍事講演をなせり

◉軍司令官消息

南鮮各守備隊巡視中の駐劄軍司令官井口中將は二十七日午前順天守備隊を檢閱後晉州に赴き同守備隊を檢閱す可しと

◉立花中將歸期

軍旗奉授式の爲め北鮮部隊に出張中の立花第十九師團長は來る十日龍山著の豫定の旨師團司令部に對し通報ありたり

◉中村堀兩少佐入京

伊太利大使館附武官中村陸軍少佐及び佛國大使館附武官堀海軍少佐は何れも廿六日夜安東縣より入京し浦尾旅館に投宿せり

◉鐵道視察員歸著

滿洲各地視察中なりし木下鐵道院運輸局長三木鐵道局營業課長は二十七日朝南大門著歸著せり木下局長は朝鮮ホテル一泊の上二十八日午後七時五十分南大門發歸京の途に就く筈なり

◉社寺規則と京城神社

昨年十月總督府より社寺に關する規則發布せられ京城神社に於ても町內氏子總代連署を以て豫て許可申請中の處去る二十二日附にて總督より許可の指令ありたるにより近日氏子總會を開き諸般の事務等に付き打合をなし今後法人として經營せらるべく因に現時の社屋は假工事なるを以て神威を損ふ憂あり且祭典施行上不便尠からざる爲め近く改築の議あり

◉京畿各學校組合豫算

京畿道內各府郡學校組合本年度豫算につき未だ提出をなさざるもの二三箇所あり既に提出のものに在りても書類に不備の點あり返付中のものもあれば全部の出揃を見るは來月中旬頃なりと

◉矢野課長視察

矢野通信課長は既報の如く二十九日京城出發原州忠州春川方面の通信狀況視察の爲め出張六月九日頃歸任すべしと

◉平福畵伯金剛山行

鐵道局の囑託に依り金剛山觀光の爲め來京中なりし畵伯平福百穗氏は二十七日午前九時二十分南大門驛發列車にて窪田局員同伴元山に向へり

◉清代議士來訪

衆議院議員清釜太郎氏は滿洲方面より歸國の途次廿七日朝入京したるが同日本社を訪問したり

◉物集博士講演會

入京中なる物集文學博士は二十七日午前十時より京城中學校の講堂に於て講演會を開き約一時間半に亘り有益なる講話をなせり

◉通俗講演會と講師

京城食料品及び酒類組合は六月一日午後七時より通俗講演會を開會する由既報の如くなるが當日は總督府視學官太田秀穗氏及び田中半四郎氏の講演あるべしと

◉傭人講話會

總督府用度掛にては二十七日午後一時半より總督府會議室に府內傭人及び附人等全員二百餘名を召集し安藤用度主任より一場の訓話ありたる後秋山視學官の修身講話、田中京城府囑託の衞生に關する衞生講話其他二三の有益なる講話あり四時三十分散會したり

◉辭令

朝鮮總督府鐵道局の官制改正に伴ひ二十六日附を以て左の通り辭令ありたり

工學博士 大屋權平
任朝鮮總督府鐵道局長官叙高等官一等

朝鮮總督府鐵道局參事 三本武重
任朝鮮總督府鐵道局理事叙高等官二等

朝鮮總督府總務局長 伯爵 兒玉秀雄
兼任朝鮮總督府鐵道局理事叙高等官二等

朝鮮總督府總務局長兼朝鮮總督府鐵道局參事 伯爵 兒玉秀雄
免兼官

平壤

▲地方麥作狀況 平安南道安州郡地方本年の麥作狀況を聞くに小麥は目下六七寸位大麥は約四寸位に成育し氣候順調なる爲め發育昨年に比較して良好なる成績なれば此儘に推移せば本年の麥作は大豐穰なるべしと▲鮮銀支店長の視察 朝鮮銀行平壤支店長阿部秀太郎氏は行命にて六月二日支那及び滿洲の經濟狀況視察の途に就くべく先づ安奉鐵道にて奉天經由大石橋及び營口を過ぎ更に大連旅順等の視察を了へ渡船にて青島に上陸濟南府天津北京を視察京奉鐵道に乘じ長春吉林に出で更に長春に歸り中東鐵道にて哈爾賓を視察し六月二日頃歸壤すべしと▲陸軍官舍新築 平壤七十七聯隊將校及び下士官舍建築工事は目下地均し九分通竣工し完成基礎工事は著々進行中にして諸材料は過半數運搬濟となりたれば落成期は九月中旬ならん▲火災 五月十五日午後一時平安南道德川郡蚕島面松林里三統五戶李達敬方より出火家屋四棟を燒失す損害百五十圓位原因は煙草の吸殼なりと

大田

▲技師の視察講演 既報の如く中田勸業模範場技手は二十四日來田本道指術技師を來田し雨中にも拘らず數箇所の果樹園を視察し二十九日に本町淨土宗數會所に於て栽培法及び苗木購入上の注意等に就き約二時間に亘る講演を爲し一般聽衆よりの質問其他に對する質疑應答あり午後は各果樹園に至り實地指導をなせり△煙草耕作者の視察 全羅北道鎭安郡の煙草耕作者は當地總督府專賣課大田出張所の煙草耕作狀況を視察すべく來る六月四日來田同五日視察六日歸郡出發の由日割通知ありたりと▲電話加入者へ質問 當地郵便局にては一般電話加入者に對し

一交換手の言語及び取扱の可否、二信號して交換手應答迄の最長時分、三電話機附屬物品の良否及び通話の良否、四右の外加入者希望の事項

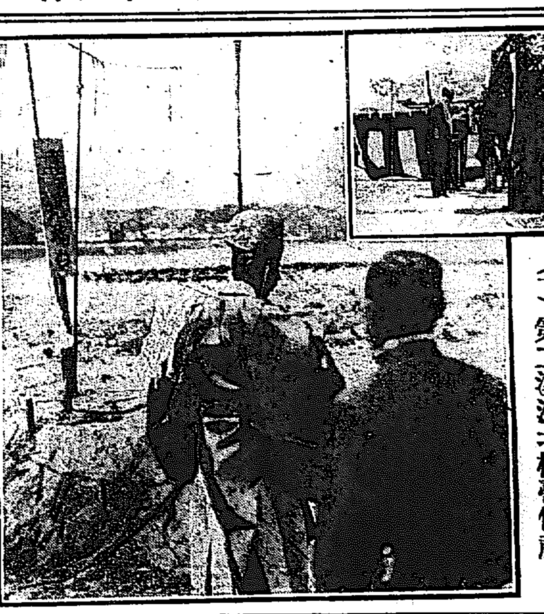
を記載せる紙片を配布し其回答を求めたるに回答者頗る多く當局の參考となりたる點多かりしと▲野犬撲殺 大田警察署にては近來狂犬の橫行する憂ひあるを以て來る廿九日より三日間野犬撲殺をなす由▲在鄉軍人大田分會にては來る廿八日午前七時より第七十九聯隊射擊場にて射擊會開會の由▲橋本署長病氣 橋本大田警察署長は警察署長會議の爲め公州に出張中なりしが病氣の爲め廿六日發時三十分當列車にて歸田せり

清州

▲明治神宮奉贊會 清州郡廳にては明治神宮奉贊會の趣旨を一般人民に周知せしめん爲め過日來本橋郡書記をして郡內に當らしめつゝあるが會の趣旨に贊し進んで獻金を申込む向き多々ある由▲柳長官巡閲 柳忠北道長官は二十五日三宅、沈兩道書記を隨へ巡閲のため鎭川郡に向ひたり▲佐々木部長出張 佐々木忠北第二部長は三日間の豫定にて廿五日朝忠州に出張したり▲此華會例會 清州此華會は二十四日夜本町悟竹庵に例會を開き席上即吟毛筆、柿の花、風鈴の作句を爲し互選の上散會したるが近來になき盛會なりし▲宗本主計正來清 宗本陸軍三等主計正は二十五日來清二十六日は清州憲兵隊本部會計事務の檢查を行ひ廿七日槐非憲兵隊長の歸清を待ちて廿八日忠州に向ひ江原道春川を經て歸任の筈なりと▲軍司令官通過 日下南鮮巡視中の井口軍司令官は來月三日午後二時半芙江より清州を通過し忠州に向ふ豫定なりと▲柳長官の道路視察 既報の如く巡閲のため二十五日鎭川郡に向ひたる柳忠北道長官は道路視察のため同地より京畿道竹山郡を經て安城に向ひ一泊の上二十七日天安著一泊し翌二十八日天安鎭川間の道路を視察して鎭川に引返し翌二十九日歸廳の筈

人事消息

▲鍋原俊九男 二十六日夜入京朝鮮ホテルへ
▲馬詰次男氏(東亞煙草販賣所長) 南鮮地方へ出張中の處二十六日夜歸京
▲齋藤浩介氏(久原鑛業會社重役) 二十七日朝入京天眞樓へ
▲清釜太郎氏(代議士) 同上
▲山口高商生徒五十七名 二十六日夜入京旅館へ
▲ケノダー氏(露國副領事) 二十七日朝長崎より歸任


（上）寺内總督の玉串奉献
（下）第二漢江北橋臺修祓

●漢江架橋起工式

寺内總督の臨場

絹の如き橋の上で降神の式

漢江人道架橋起工式は二十七日の吉日をトし午前十一時四十分より架橋地點たる漢江々畔鷺梁津渡船場の右岸に於いて擧行されたり、此の日朝來密雲低く垂れて陰鬱に打曇れる空は雨を催すべき模様なりしが式の前後より陰雲散じて麗日現れ申分なき起工式日和となりしも幸先よし式場は渡船場横

一介の塵も交へざる白砂を

盛れる高地に設らへられ、中央に簡楚なる祭壇あり、祭壇にはかずくの海つ物、山つ物等綵色濃き與物と共に献げられ、その周圍は悉く鯨幕を張り廻されて神々し、式場外には對岸の翠巒に相映發せる漂渺たる

漢江は洋々たる碧波

を湛ゑて絹の如く翠緑の毛氈を敷き詰めし如き水面を滑べるが如く進み行く孕み帆の二點三點、趣きを添へて南面せる祭場前に遠く見ゆる第二漢江鐵橋の橋脚勾欄と共に初夏の色彩溢るゝばかりに四邊の景致人をして恍惚たらしむるものあり寺内總督には山縣政務總監と共に白水軍參謀長、高橋武官、岡本師團參謀長、大藤副官、池邊秘書官、遠藤秘書官等と京元線踏切前に自動車を乘て

式場まで五丁餘りの砂原を

持地土木局長の案内にて徒歩し關係諸員の出迎へを受けて豫て設けられたる休憩所に入り暫らく四顧の風色を觀賞して式に臨み茲に式は開始せられぬ、先づ總督一行及び來賓一般參列者著席するや平井齋員は祝詞を上げて修祓の行事を行ひ續いて諸員起立敬禮の内に江岸の傍に設らへられし北橋臺前に至りて嚴かなる降神の式を行ひ神饌を獻し終れば谷村齋官は恭しく神前に進みて架橋安全の祝詞を奏し玉串を捧げて退けば總督政務總監、持地土木局長と順次玉串を献じて續いて一般參列者の玉串捧献ありそれより神饌を撤し

更に崇嚴なる昇神の式あり

之れにて全く祭式は滯りなく終れり同橋は本年四月工事に著手せるものにして工費約八十四萬圓構造は徑間二百呎床木板二重張にして延長第一漢江六百十四呎（約百三間）第二漢江千四百四十二呎（約二百四十二間）にして幅員有効幅員十五呎人道有効幅員六呎宛全幅員三十呎にして竣工豫定は大正七年三月にして本流たる第二漢江、支流たる第一漢江の

兩架橋間には完全なる聯絡道路を築き立つべく

從來京龍より漢江を渡りて對岸に赴くにはすべて渡舟を以てし時に増水氾濫の場合には舟便全く跡を絶ちて

交通杜絶するの餘儀なきに

至り不便の點多く又漢江々岸に遊歩を試むる場合の如きも京元線路より江岸に至る間は砂路深くして歩行不自由にて市人の困却する所多かりしが是等は人道車道を併有する該架橋によりて全く除去せらるべく竣工の曉には一般の蒙る便益は尠からざるべし因みに當日は總督、政務總監の外大屋、松永各長官、横井鐵道局技師、隈部警務部長、金谷府尹、関子爵其他の關係者官民有志の參列多數ありたり

●亡妻を慕ふて冥土へ

憐れなる一家

京城樓下洞無職朴容紋（三三）は妻劉氏（三六）との間に當年二才になる男兒あるも赤貧洗ふが如く二十五日以來食すべき物も盡き果て親子三人相擁して餓死を俟つ外なき始末に二十七日午前六時頃妻の劉氏は世を悲觀したるものか豫て洗濯用に買求めありたる苛性曹達を飲用して苦悶し人事不省に陥りたるを見たる朴容紋は妻が絶命したるものと思ひ此上幼兒を養育するは到底覺束なしとて自身も自殺を企て同七時頃通義洞路傍なる水深一丈餘の共同井戸に投身したるも附近の者等に救助され應急手當を受けたる爲め生命に異状なし急報に依り鍾路署より係官出張臨檢名共檢視せしが劉氏は稍重態なるも多分生命には別條なかるべく目下朴容紋の實弟なる練府洞の朴容洗が引取りて看護中なりと

□初夏の秘苑

□大氣まで翠に耀く秘苑の初夏は實に幽邃であり閑雅である。□丹塗の樓、紅棟碧瓦は柔らかな若葉青葉の隙より洩れて、まだ蛙の聲も聞ねねば、夢さながら靜けさで居る□欅の老大樹、空を蔽ふて立ち並ぶ間から、ゆかりの色に咲き充ちた桐の花、池にしづれて散る藤の花が趣多き夏を語つて、池には可愛らしい睡蓮が子供の掌ほどの小さな柔らかな葉を開く□打續く栗の林には若葉の香が充ち、松林の中にはあわかなる鈴蘭の花が咲く、古い土塀を包んだ蔦の葉にも夏の面影は深くなつた□秘苑の緑は夏と共に深んでゆく青葉色と共に朝夕に秘苑の初夏は濃やかになつてゆく。

●呪はゞ穴二つ

惡漢里民を欺く

江原道鐵原郡北面上岳里金樂潭（六七）は居洞にて勢力を有し曾て他より同里に移居し來れる元韓國軍隊參領なりし全禎基と折合よからず大正三年十一月中水利妨害をなし同人より告訴せられて罰金三十圓の處分を受けたるを遺恨に思ひ同人を放逐せんと企て全禎基が以前軍隊勤務中部下なりし延起羽なる者が暴徒の首魁となりたる關係上昨年十二月十二日夕刻居里李海弘方に里民を集め全禎基は強盜なり直に放逐せざれば所轄憲兵隊より守備隊を連來りて里民を鏖殺すべしと一同を脅迫したれば里民は恐怖の餘り里長李舜卿を總代として

右の事實の有無を鐵原分隊白鶴里憲兵出張員に照會したるより樂潭は遂に檢擧せられ鐵原支廳にて懲役三箇月の處分となりたるを不服とし京城覆審法院に控訴し二十六日是れが控訴棄却の判決を受けたり

最も有益にして頗る愉快なる斯る遊覧團あり

古戰場の平壤へ

△六月三日（土曜日）午後十一時半 臨時列車にて南大門驛發 龍山十一時四十分仁川よりの方は午後九時三十五分仁川驛發龍山乘替

△六月四日（日曜日）午前六時平壤驛著歸路は同一切符を以て六日の午後一時三十九分平壤驛發列車迄何時の京城行列車にて歸らるゝも御勝手です、ですから四日、五日同一切符で平壤で遊ばれます

主催　京城日報社　每日申報社

△往復汽車賃 京城、龍山よりは三圓五十錢仁川よりは四圓 普通なれば京城、龍山より六圓六十錢仁川よりは七圓四十錢ですから烏渡半額です

△遊覧團は成べく會員諸君の御自由を思ひ會費は往復汽車賃のみでお辨當も旅館も諸君の御自辨ですから諸君の行動は御自由です

△平壤に於て會員諸君を歡迎する爲め破天荒の餘興の大計畫があります

新綠の柳都へ

●放火して大鼾

呆れ果てた醉漢

全北全州郡伊西面林贊中（五三）は去る十五日朝食前より同面林推田方に赴き飲酒し午後三時頭歸宅し妻を叱りたる上毆打せんとせしに居合せたる徐姓女に妨けられたれば縁側にありし火鉢を取り妻が物置に逃込まんとする所を見揚て投付更に炊事場にありし火鉢を取り屋根上に投上たれば之より失火したるも大事に至らず消止たるが林贊中は大に醉ひ居室に入りて大鼾をかいて熟睡し居たるを消防夫が喚び起したるに大に怒りて消防夫を毆打し負傷させる等亂暴を働き其筋に引致さる

●浮浪人五十餘名を檢擧す

京城鍾路警察署にては以前より継續的に管内を漂浪し居れる不良學生及び財産家の子弟を誘惑し或は無職にて不正の暴利を貪りつゝある惡漢の檢擧に努めつゝあり然るに最近に至り地方より流れ込みて管内を荒す者漸次増加の傾向あれば二十五日よりこれが檢擧に努めたる結果五十餘名を引致し目下取調べ中なるが是等は力めて正業に就職せしむる方針な

るも改悛の見込みなきものは相當處罰すべしと

●舞妓を誘拐して朝鮮へ

佐世保市天滿町笠置まつ養女舞妓その（一四）同町山下その方小澤くに（一八）同米村せき方小野田かね（一五）同方正本ちよ（一四）の四人は去る廿四日午前十時より二時までの間に於て行方不明となりしより抱主は大いに驚き八方に手分けして搜索中なるが今に所在不明なりと右四人は惡漢のため誘拐され朝鮮方面に向ひし形跡ありとて其の筋に願出でたり（佐世保）

●金剛山ホテル

來る六月一日より開業

金剛山を天下に紹介する爲め鮮に船車連絡割引券の發行を爲し旅行家の便に資したるが愈々金剛山季節ともなれば温井里なる金剛山ホテルは六月一日より開始する事と成りたるが鐵道局にては金剛山を紹介せん爲め廿八日夜京城中學校に官吏、各學校職員、會社、銀行員等を招き幻燈を以て其奇勝を紹介し安藤參事詳細なる說明を爲す筈

●昌德宮の席上揮毫

書畫家數十名の招待

昌德宮にては廿五日午前九時より仁政殿に書畫家數十名を招待し席上揮毫ありしが當日は閔長官、小宮次官、李完用、尹德榮、宋秉畯、李載崑、李址鎔、趙東潤、閔泳徽の貴族諸氏其他朝鮮官吏二十餘名陪席し招かれたる書畫家は金圭鎭、金應元、趙錫晋、安中植、丁大有、姜璡、李道榮、李建元、玄采の諸氏其他數十名にて何れも數百枚を揮毫し午後七時散會せり

●將校連の電車觀察

第十九師團司令部及び第七十八聯隊本部將校は廿七日午後一時龍山三角公園に集合同所より買切り電車一臺を仕立て往十里、淸涼里、麻浦の各所を視察の上麻浦より渡江八景園に出で歸隊する筈にて十九師團司令部よりは岡本參謀長以下幕僚、聯隊本部よりは聯隊長以下副官等にて全部廿餘名に達する筈なりと

●六十圓入つた大鞄

白晝南大門通りで拾ふ

京城淸進洞擔軍吳仁根は二十三日午前十時頃南大門通二丁目路上にて現金六十圓入の大鞄一個を拾得し所轄本町署に屆出でたるが即日遺失主判明したる由

●トロに轢かる

慶北漆谷郡

倭館面居住の日稼業朴萬夏（五一）は漆谷郡枝川面遂花洞に於ける京釜線鐵道改修工事の工夫として雇はれ去る二十三日土砂運搬に從事中同日午前十一時頃同人の押しゐたるトロが轉覆し避けんとし居る間に後方のトロが進み來りしため避くる機を失ひ遂に左足大腿部を粉碎され即日大邱慈惠醫院に送り入院せしめて治療を加へしも二十四日午前十時遂に絶命したりと

●鐵を食つた男

龍山錦町無職史者斤澤（二九）は昨年十二月二十五日より本年五月二日迄に龍山漢江通田川鐵工場の裏手鐵屑置場より前後二十回に古鐵百二十貫（六十餘圓）を竊取し懲役十箇月の處分となる

●自殺

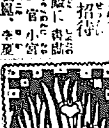
京城社稷洞趙敬昌（七三）は去る二十一日午前六時頃平安南道江東郡東面獻壽洞四統八戶歩行客主玉潤敦方にて自己所有の小刀を前頸部に突き立て自殺を遂ぐ

●猩紅熱

京城本町三丁目松山千枝子（八）は二十五日診斷猩紅熱と判明し總督府醫院へ入院し通學中なる日の出小學校は同日大消毒を施したり尙南山町一丁目菅友則（五）は二十四日發病二十六日猩紅熱と判明順化院へ入院加療中

●娼妓に迷つて窃盜

鹿兒島縣始良郡國分村生れの藤崎茂（三三）は京城新町榮月樓、金華樓等の娼妓の色香に迷ひ遊興費に窮したる結果横領及び窃盜を働きたるため京城地方法院にて懲役十箇月に處せらる



「此の日天氣晴朗なれど波浪高し……」の名文をかいた海軍の秋山少將は今ごろは露西亞あたりの戰線を見物中、二十七日の海軍記念日にあたり思ひ出が深い▲朝鮮の鐵鑛にして設備の完成期に達すれば年々日本に輸入しつゝある百萬噸二千百萬圓以上の製鐵を防止し得べしとは西鮮を視察した八幡製鐵所顧問野呂工學博士の談▲浦鹽の商店では頃日女店員ばかりが働いて居る相な▲商工課長の靑木君が臺灣出張前に留守中のダリヤの手入方に就いて家族に訓示をした話は其當時此欄に照介したが今度歸任したから早速ダリヤの消息を聞くと「無事に立派に育つてるよ」は御同慶。

■東京大相撲夏場所星取表

（袋中○勝●負×分▲預ヤ休）

東の方	成績
西の海	[illegible]
大錦	[illegible]
對馬洋	[illegible]
栃木山	[illegible]
兩國	[illegible]
九州山	[illegible]
源氏山	[illegible]
宇都宮	[illegible]
響矢嶽	[illegible]
紫雲龍	[illegible]
小常陸	[illegible]
近江藤	[illegible]
岩木山	[illegible]
大の川	[illegible]
宮城山	[illegible]
梅ノ川	[illegible]
朝錦	[illegible]
稻葉嶽	[illegible]
比海波	[illegible]
龍ヶ崎	[illegible]
玉の川	[illegible]
逆鉾	[illegible]
綾川	[illegible]
勝星 七十二　負星 百〇三	

西の方	成績
鳳	[illegible]
太刀山	[illegible]
伊勢濱	[illegible]
大蛇潟	[illegible]
浦の濱	[illegible]
石山	[illegible]
大鳴門	[illegible]
玉手山	[illegible]
八甲山	[illegible]
鳴戸洋	[illegible]
魁渡	[illegible]
大戸平	[illegible]
黒瀬川	[illegible]
寒玉子	[illegible]
眞砂石	[illegible]
千年川	[illegible]
七州山	[illegible]
錦の穗	[illegible]
紅葉川	[illegible]
明石	[illegible]
柏戸	[illegible]
敷島	[illegible]
朝潮	[illegible]
勝星 九十五　負星 七十一	

演藝案内

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七 天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店
五月二十六日より差替大寫眞 ◎實寫 伊太利噴火山 ◎泰西大活劇 ムンロの秘密 全三卷 ◎落劇 南總里見八犬傳 全六卷

壽座 本町 電話五七八 五月二十四日より 新派 夜光の玉 喜劇 忠臣藏勘平 舊劇 揚卷助六 茶屋場 午後六時開幕 笑樂會

浪花館 明治町 電話二六〇番 東京落語 三遊亭圓遊一行來る ○十七日より毎午後六時開演 落語、手踊（三遊亭遊三）▲落語、音曲 ▲落語、笑話 ▲滑稽、人情話

黃金館 南總 里見八犬傳 全六卷 大好評初日滿員御禮 決死の撮影 伊太利噴火口 泰西活劇 ムンロの秘密 全三卷 電話二六三七

大正館 櫻井町 電話八七三 ○新派活悲劇 乳兄弟 ○探偵活劇 巴里の秘密

御成座 御成町 電話二九一 市川海老松 阪東鶴一座 二十八日 前狂言 伊賀越道中双六 切狂言 奧州安達ケ原 入場料 一等四十錢、二等二十五錢、三等十錢

胃弱の人

用心深き胃弱家は淺川博士の言はる通り飲んで後に害を殘さぬ胃活を家庭に備へて常用し玉へ……證は急げ
胃活定價 金拾錢より壹圓迄
胃活錠定價 金廿錢より壹圓迄
本舗 東京日本橋本銀町 山田安民 大阪南久寶寺町 山田安民藥房

大葬社 葬具一式 造花、生花、花環、寄贈品、装飾品其他供物一切 親切丁寧は本社の主旨に候間御用命奉希上候 京城永樂町二丁目 電話一〇五六番

株式會社 京城葬儀社 旭町二丁目（京城府廳横） 電一五六七番 靈柩馬車の設備有之候 中河原重吉 井上芳太郎 電話九五七番

奧田洋服店 店主奧田甚平儀療養相叶はず死去いたし候間此段辱知諸賢に謹告申上候 五月廿七日

衛生口錠 カオール 人に接する時必ず口中せられよ
特長 ▲他人の惡氣を豫防し ▲心身の疲勞を恢復し ▲精神爽快、元氣旺盛
◎ヒスイ色まが玉形 丗五錢 ◎弗入人形 丗八錢 ◎袋入 十錢 本舗 東京 安藤井筒堂 代理店 京城 新井藥房

工事入札

一、榛洞修繕工事 京城府榮町旭川筋
此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上
入札者ハ京城府ニ於テ國税、府税、學校組合費年額三十圓以上ヲ納ムル者ニシテ滿二ケ年以上府業ニ從事スル者ニ限ル
右入札ニ附ス希望ノ者ハ本府會計係ニ就キ入札人心得書、契約書案、仕様書、圖面ヲ現場ニ熟覽ノ上五月三十日午前十一時限リ同會計係ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ朝鮮總督府尹金谷充擔當ス
大正五年五月二十四日　京城府

はれ　晴一時曇　五月廿八日

昨今福州市にては天然痘蔓延し去る三月二十八日に新患者を發見して以來本月二十一日迄に百五十名の患者 の報告によれば眼度玉買にては三月…中の七分位又紡績其他工場に於て一以て豫防に着手せり（大阪）

●女の手一つでもり立てた 淑明女學校

△淵澤女史のむかし話

□淵澤先生が京城に來られましたのは恰度十二年前の今月今日、當時岡部子爵と共に加藤瑞雄氏の邸に居られますと日本海々戰の號外が參りました

□當時京城の人達は心配で夜の目も寢られずに居りますと翌日になつて大勝利の號外!!こんどは嬉しさの餘りご飯もいたゞかれなかつたといふほどでありましたさうです

□女史の朝鮮婦人教育の大事業は實に此の頃から始まりました「その頃妾たちに餘程朝鮮の人から嫌はれたものと見ねましてよく鍾路の通りでは礫さへ投げられました」と、女史は感慨深きおはなしをなさいました

□斯くて始めて出來あがつたのが只今女史のお住居になつて居る温突一間最初の生徒は僅かに五名ばかりでございました

□其の後十年の年月を經て卒業生百五十名、現在生徒二百數十名を有つ光輝ある淑明女學校となりました（なほり）

●工傳の製品陳列會

生徒製作の貨品も在ます

總督府醫院の東がは工業傳習所の製品陳列會は二十八日の午前十時から午後四時までの間に開かれます、傳習所は今年から工業專門學校といふ高等な學校も出來ましたがその教室兼工場となつた作業場は見物するだけでもなかく婦人方の參考になることが多いのであります。石鹸は何うして作られるか、タウエルはどうして織られるか陶器はどうして燒かれるか等いろ／＼なおもしろい見物が出來ます、また學生や生徒の手に製造されたいろ／＼な貨品も校內に陳列されてあります、中食は校內に市中の店が出張して居ます

□雨が多い年に多い病氣……

□內地に似て來た朝鮮の氣候□

◇近頃朝鮮の氣候は餘程內地に似寄つて參りました、また測候所の雨量統計を見ませんから正確には分りませんが今年は殊に雨が多い樣であります。

◇印度からの電報に依りますと同地の綿を産する地方では此頃ムンスーンの襲來を受けさうだと申すことでありますが朝鮮も多少其影響を受けて居るかも知れません

◇雨が多ければ濕氣が多く黴が出易いこれからは家庭の衛生が大切であります

◇雨の多い年に一番多い病氣は胃腸病、呼吸器病、それからチブスや赤痢などの傳染病ですが、此等は皆行屆かない不注意から起るものであります

◇先づ婦人方の心得て置くべき事は座敷の中はもとより不潔になり易い場所は殊に注意して、勝手元などは隅々迄清潔にする必要があります

◇そして流しに汚水が溜らぬ樣塵捨場に塵埃が一杯にならぬ樣にし臺所を時々乾燥させます

◇又器具類の濕氣を防いで食器はよく乾いた布巾で拭き、食物は少し黴の生へたものや臭ひのするものは食べない方が宜敷い

◇煮返したから大丈夫だと思つて食膳に上せたりして其爲に胃腸を害する事などが往々あります

◇其に牛乳などもすぐ腐敗し易くなりますからよく煮沸したものを用ひ子供達には店ざらしになつた、ミカン水、レモン水などの飲料を禁じて、渴を訴へる場合には必ず湯茶とかコーヒーとかを與へるが宜敷い、

◇それから果物も未熟なのは絶對に食べさせぬ樣に生暖かい夜なぞは寢冷ねをしない樣に注意しなければなりません

◇そして食物には蠅のつかぬ樣にこれからの臺所には蠅入らずの設けも入用であります

◇其外床下の掃除や下駄箱、戸棚、物置、便所の掃除など、は平生よりも一層心掛て清潔に行屆く樣にしなければなりませぬ

●金剛山紹介の講演會

餘興に活動寫眞があります

鐵道局では金剛山探勝の調引切符を賣る事となりましたが二十七、八兩日には京城中學校で京城の各學校教員小學校以上の生徒に、三十日には京城倶樂部で總督府職員に、三十一日には朝鮮銀行會議室で銀行會社員に一日には鐵道青年會で內鮮人一般市民の爲めに金剛山に關する講演會を開いて其餘興として朝鮮鐵道沿線の風景や名勝舊蹟の活動寫眞を映寫するさうであります

それから二日には仁川小學校で催し五日には釜山大邱平壤にも及ぼすさうですが京城で講演されるのは鐵道局安藤參事であります

■御孃樣の頭痛 めちや吉

週間の花嫁花聟は、妙齡のお孃樣には頭痛の種、無い種だ、同じ學の窓で希望多き未來を語りあつた誰彼の、華かな婚い相な、而も美しいお婿樣と睦じ相に並んだ寫眞は一と眼見てさへお孃樣の胸には、ザリ／＼と聽へる。「新婦は高等女學校出身の才媛だなんて嫌よ、然麗だつて與學だつて何一にも出來なかつた癖に…イ、、憎らしい…」と餘沫は飛んで鬪も頭痛の絶えた神なし

婦人界消息

▲女子技藝の消防講演 京城女子技藝學校にては廿七日午後二時より家庭に於る消防機の使用法につき消防隊の實習講話がありました

◉小學生の齒齒檢査 警務總監部では府內各小學校の齲齒を檢査する必要があるので近々坂部衛生課長其他の係員が出張して調査するさうです

▲村上寬子夫人（李王職事務官夫人）厳父病氣の爲め廿六日南大門驛發急遽郷里へ向はれました

神社と教會とお寺

▲メソヂスト教會 廿八日午後一時より日曜學校同二時より禮拜說教あり

▲日本基督教會（長谷川町）廿八日午前九時より日曜學校、同十時より禮拜說教、午後八時半より傳道說教あり

▲救世軍の說教 廿七日午後八時半鍾路街頭にて石島大尉の說教あり廿八日午後八時半には永樂町にて新兵士入隊式あり

▲日本基督教會（龍山漢江通）廿八日午前八時半日曜學校、同十時より傳道說教あり

▲曹洞宗別院（若草町）廿八日午前十時より大般若經奉讀法會、午後八時半より佛教通俗の說教あり

▲西本願寺（永樂町）廿九日午後二時と同八時より前田博士の講演會あり

パンもよし キャラメルもよし若葉かげ 京城明治町電話二八七〇番 木村屋

一△會いろ／＼▽一

○京城禁酒會 廿八日午後八時より旭町二丁目メソヂスト教會にて

○香蘭會茶話會 京城高等女學校卒業生十五名の香蘭會京城支部では廿七日午前十一時から大和町田中事務官の御宅で茶話會を催しました、稍ほ二名の新顔の方もおいでになつていろ／＼と思ひ出多きおはなしがありました

○海軍記念日講話會 京城高等女學校にては廿七日の午前成田校長の日本海々戰に關するおはなしがありました▲又鍾路普通學校にても廿七日午前中日本海々戰の講話がありました

○佐賀縣人會 鍋島侯、中村純九郎氏入京歡迎を兼ね廿八日午後一時より旭町綠蟹料理にて總會を開き午後三時より倭城臺公園にて遊園會を催す

だいどころ その日／＼

圖氷海老 さい卷海老を二丁ごと茹へ皮をむき、二つに割り、前に寒天を水に浸柔かくなりし頃むしつて、鍋へいれ寒天一本に水二合五勺の割にて火にかけ溶く煮つめ砂糖少量加へて、火にかけ溶く煮つめ是れを布巾なりブリキの箱なりに先へ五分ほどの厚みに流しこみ、この中へ前の海老の赤き方を下に向けて、いれこの上へ再び寒天を少量流しこみ、かたまりかけし頃金串にて流しこみ全部かたまりし頃適宜に切り皿へとりて供めます

番茶のあとで

本町一丁目のお茶店清々園はお向ひに料理屋の精養軒がありますためいつも手紙や使ひの間違ひがあつて困るさうです。併しお使ひの方でもどちらしお茶屋で困りますとこぼす相です▲このうら消息子が遞信局橋本遞信官夫人のお孫出産たかきましたところ坊ちやんは坊ちやんでも一年前に生れた坊ちやんだつたので此の頃お次ぎができまして御井川良うなどさ澤山のお祝ひ肽が舞ひ込み昨今若夫婦大弱りで居られるとのこと▲お祝の注に城へません、あれは消息子の間違ひです、謹んで訂正いたします▲このごろ京城の婦人方には露足が流行りますさうで

商況

東京株式特電 二十六日前場寄付 大引 東京株式、東京新株、東京鐘紡新株、東京鐵道株、日本郵船、大阪商船、東洋汽船、日本石油、東京電燈、東京瓦斯、大日本製糖、鐘淵紡績、日清紡績（相場不明瞭）

債券現物特電 二十七日東京債券（前日との比較） 東洋拓殖、京城電氣、朝鮮銀行、韓國銀行、朝鮮殖産、滿鐵、東亞煙草、南滿鐵道

公債直取引特電 二十七日東京公債（前日との比較） 九七、〇〇 八二、五〇 八一、四〇 九六、八〇

深川在米特電 二十七日現在高 朝鮮米 內地米 合計 八、三〇五 六、五四〇 三、九四七

東京期米特電 二十七日前場 五月限 六月限 七月限 ／ 一五、〇七 一五、〇九 一四、九八 一四、九八

大阪期米特電 寄付 高値 安値 引け 二十七日前場 ／ 一四、一八 一四、七七 一五、三〇 ／ 比

大阪株式特電 二十七日前場 大阪株式、大阪新株、東京新株、日本郵船、大阪商船、東洋紡績、攝津紡績、天滿織物、大日本麥酒、大阪電燈、宇治川電氣、阪神電鐵、南海鐵道、京阪電鐵

大阪三品特電 二十七日前場 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限

下關期米特電 二十七日前場 寄付 安値 高値 止め

朝鮮物産特電 馬山改良、釜山改良、群山改良、木浦改良、仁川改良、南浦改良、鎭南浦改良、元山改良、仁川白米上、仁川白米中、仁川白米下 ／ 釜山大豆、群山大豆、鎭南浦大豆、元山大豆、城津大豆、仁川大豆、長湍大豆、仁川小豆、木浦大豆

雜報

●三品當限高納會 近來買物筋を壓せし三品市場は機に乗じ賣方の强化と本月二十五日の米粉高の如き何れも當日前場は各限を通じて下七十錢高を告げ其後漸次氣乘り持合ひとなり當限は或は不成り了りに納會を見るならんとの觀測

各地商況

◉釜山（二十七日の穀物）相變らず商閑散

▲朝鮮一等白米（常用）十三圓五十錢 ▲同二等白米（常用）十三圓二十錢 ▲同 十三圓十五錢 ▲同 十三圓 ▲熊川大豆 十一圓四十錢 ▲元山大豆 十一圓三十錢 ▲倭館大豆 十圓二十五錢

▲小豆は變らず 本品は依然賣れ行きに過ぎずして市況引立つべくもあらず然れども相場は其他との比較上不引合なる爲に各手持筋の安くは手放さゞるに依り格別入氣無く變らず

下關相場

▲朝鮮白米は變らず 依然內地正米の不引立なるに連れ一向買氣進まずして賣れ行きの鈍なる爲め市況面白からず然れども其後の出廻り多からざる爲地も別に弱氣を傳へず勞各米主の安くは手放さゞるに依り格別の下落もなし

▲大豆は依然手堅し 本品は其後の輸入は殆んど皆無にて其後も引續き同樣の出廻りが乏しき故に比較的高値を持續せり尤も一時は氣崩れの傾向ありしも各商主の強氣と今年の作況の折柄とて各商主の强張り居る爲め相變らず市況手堅く許百五十叺許りは十圓二十五錢乃至十圓八十錢にて取引せられ其他朝鮮の山來は二百六叺及び百三百九十叺在荷あり

●綿布又弱し

大阪綿布は時下止まり強氣配なりし綿布も其後引續き反動現はれ内外の買手に仲はざるものあるに拘はらず一錢五厘安を現はし二十六日の週報に見る能はざりしは能くつゞく不況の如し今日の成行より推す時は本月中には尙ほ十錢乃至十五錢の下押を見るに至るべし

至十五錢の下押

確實 仁川株式取引所仲買人 ㋮廣澤正太郎 迅速（定期米賣買委託內 御報次第送呈） 電話一六〇番

●洋釘平板輸入

來年板及び洋釘の輸入は大部分仁川筋の約定品もあり京城筋の特品となる物もありて今日の我市場に出したる物にて四五十日の輸出期を經過したるものゝ如く相當の安値に相場を比較せば何れも多少元値を割りといへるが現下金物界の大勢に連れ將來の見通しも何れ先行き一層高値を示すに至るべし

初秋の需要期を迎へ 現狀維持

新酒は已に灘方面の醸造家中には出荷の模樣を見せつゝある向きもありて目下は其新酒と古酒との比較的高値を以て保合ひつゝあるが初秋の需要期に至らば如何なる成行きを現はすやも測り難し此間內地市場の酒價は無論低落の氣配なく月一杯迄は現狀を維持するものと見て大過なかるべし

●灘酒益好氣配

灘酒界に於ける大正四年度の清酒造石高は四十五萬千餘石に比し約七萬石の増加を示せるも古酒拂底の本年は新酒によりて出越しの現象を呈せり…

高い約束 一圓七十錢

前場に比し三十三圓二十錢に寄付き…

京城正米

▲大豆 依然賣り物少なく小口取引のみにして氣配は保合なり

京城雜穀

前場後格別變動なし市況は目立ちたる取引なき爲め不活潑なり

南大門の廻穀

水原白米 一一叺 島山白米 一〇叺 小井里米 四〇叺 平澤支米 二一叺 天安玄米 五六叺 大邱白米 五四叺 全州白米 三四叺 鳥山玄米 一八叺

仁川現物市場

△賑 入津五百俵氣配保合 △正米 入津七八百叺氣配依然保合の唱へ △大豆 入津なし氣配保合

生魚市場

本日は仁川より鯛蠣の入荷多かりしも其他は總て荷渡なり爲めに氣配も依然強保合なり

タイ一八、チヌ、メイ一、サワラ一四、スキー二、ヒラス一四、ヒラメ九、アナゴ九、アジ八、モエビ一、ニベ九、サヨリ一二、グチ九、甲イカ九、サゴシ三、アワビ一八

仁川期米

▲二十七日前場 一錢高の入

前場寄付きより三十一錢と上げ十二錢に終る

移り 新規に賣物多く

▲二十七日前場 先限 一銭 中限 二十九錢 當限 二十九錢

市場零聞

▲前場伸び惱む 大阪の小高き入電にて十三錢と寄付たるも戻り賣勝にて十八錢と押し九錢と散會

▲硬派の見 賣物多く伸び惱みの振り合を示すに至つた

仁川米豆取引所仲買人 ㊓仲買店 電話 二六五番 ニ增 三殿 電信略號

●依然保合ひ

大阪の前相の如く當月限の間近に注視し居る者の如くなるが相場は保合の鯉に向きなく底强く貴人氣と反動

一反撥

仁川米豆取引所

二十七日の七月限

前場 寄付 十三圓三十三錢 高値 十三圓三十九錢 安値 十三圓二十八錢 止め 十三圓三十一錢

出來 六千六百五十石

平均値段 一節 十三圓三十二錢 二節 十三圓三十一錢 三節 十三圓二十九錢 四節 十三圓十九錢 五節 十三圓十九錢

賣買取組高 三萬三千七百石 前日と比較 二千三百石

六月限 三萬四千七百石

▲某處への飛報

朝今某處へ發したる飛報に依れば「大阪に於て買煽合成立確に高見込注意せよ」とありたるが要するに新規買餌者に非ず從來の買方大手筋の相提携したる者の買擁合の成立したりと雖ども之が爲め今俄に相場の發騰する者に非ざるが頃日來相場の成行より見ても縱に相場は上放れするならんと思はれる記して後日に徴せんのみ

▲正米と期米

前日報道せしが其後の形勢に依れば正米界は今や契約期に控へ居ると精米移出口は依然不引合にて精米筋は見送りの狀態にあり當納租米は開田地方は當面に不足にも係らず弗々賣物顯れ…

稍引合の程度に

迄弛み

高く感ずる

▲浮動人氣

▲久原鑛業株

久原鑛業株は一時高値より下押し…

▲尼崎紡績株

▲日糖株

日本製糖は二歩乃至三歩の増配を見るべし…

北濱だより

質 堀佐營業所 京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入） （電話六三九番）

廣告に直接御用のなき御方にも御記臆成し置かるれば後日意外の御利益があります

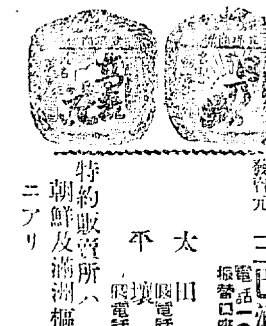
兵用圖書出版 陸軍帳簿譜表 總督府大藏省帳簿諸用紙 文房具消耗品 陣營具一式 演習射擊用品 擊劍銃槍道具 陸地測量部發行朝鮮圖（五萬分一地圖既刊五百五十六枚 定價一枚七錢五厘 送料五枚迄二錢） 朝鮮龍山漢江通六番地 小林又七朝鮮出張店 電話五二〇・振替五一〇

最上 鶴 醬油 京城府龍山元町 關西商會釀造所 電話三十九番 振替口座京城七三九番

御案內 遊漁船 釣道具卸小賣 仁川海岸町三丁目角 芹川漁具店 電話七五四番

營業品目 肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料 石鹸部 化粧用石鹸、工業用、家庭用石鹸、浮石鹸、粉末石鹸 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達 京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番 京城岡崎町一四番地 朝日石鹸製造所 電話二五六四番 電話九七三番 振替口座京城四〇〇番

板硝子直輸入商 釜山本町一丁目 ⓤ相場表御一報次第呈上候 村上商店 電話百十九番 振替京城一四五番

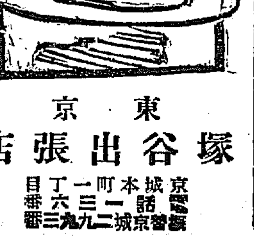


陸軍御用達 優等 清酒 京城蓬萊町 醸造元 發賣元 三巴酒造場 電話一〇六番 振替口座六一八番 太田支店 （太田電話一三五番） 平壤支店 （平壤電話五一二番） 特約販賣所ハ朝鮮及滿洲樞要ノ地ニアリ

內科 胃腸病科 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話專用二七二九番 三三番

輕便鐵道 仁川 列車時間表
仁川發 前六、〇〇 九、〇五 後十二、〇五 二、四〇
新安州著 前七、五五 十一、〇五 後二、〇〇 四、三四
新安州發 前九、一〇 後十二、二〇 後二、四五 五、三〇
仁川著 前十一、〇三 後二、一二 四、三七 七、二八

夏帽子 パナマ 二圓七十錢より ムギワラ 七十錢より 鳥打形 五十五錢より



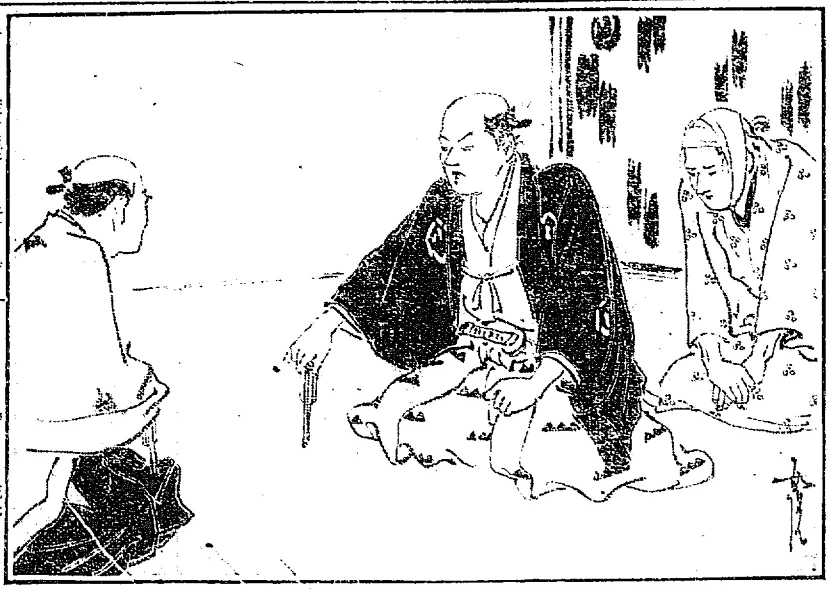
東京 塚谷出張店 京城本町一丁目 電話一三六番 振替京城二九三番

內科 小兒科 （入院隨意） 京城府龍山元町（憲兵隊側） 幾野醫院 電話二〇四番

宮本武藏

第五十一回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

浦邊藤藏は「イヤ大きに失禮」と下へ降りた 藤「手前は浦邊藤藏と申す者で 吉「手前は吉岡治太夫でござる以後御見知り置かれたい 藤「以後は御別懇に願ひたい、シテ今日お出でになつたのは何か御用でござるか、吉「外ではないが先日拙者の門人清十郎なる者、當道場の前を通り掛つた時に門人衆が一本お立合ひを願ひたいと云つて道場へ引入れ稽古をして下すつたさうだ、之れは師匠の私に取つては誠に喜ばしい事だ、其れは宜いが是程の怪我をさせて何故拙者の所へ一應の挨拶をしないのか、それに全く素面素小手であることを心得て居つて斯の如く打つたのだらう 藤「其れは悪い了簡で致したのではござらぬ、參つたと云ふ聲が聞ゑぬに依つて手前が打つたのである 吉「何か拙者に宿意あるに依つて門人を斯く酷き目に合せたものであらう、其上樣を見ると羽目板を叩き手を打つて笑はれたさうだ、之れは何か拙者に宿意があつてしたのであらう 藤「イヤ全くそんな譯ではない、拙者が打込んだ時、清十郎が參つたと言はぬに依つて打つたのでござる」振返つて治太夫が清十郎に向つて 吉「清十郎其方は打たれた時、參つたと云はなかつたのか 清「再三參つた〳〵と申しました 吉「さうか、當人は參つたと云ふことを申したさうで 藤「イヤ當人は申しても拙者の耳には聞ゑなかつた 吉「當人は申しても貴公が耳に入らなかつたと云へば其までのこと宜しい……ダガ何せ是程の怪我を爲せて一應の挨拶をしない 藤「イヤ拙者は訥辯だに依つて其んな事を論ずることは出來ない、早い所が弟子が斯ういふ負けをしたによつて殘念だから遺恨勝負に來たのであらう、左すれば拙者が此所で勝負をしたら宜しからう 吉「然うか其方の樣な者に千言萬言を費すとも益ない、訥辯に依つて論ずる事が出來ないと言ふならば論ずるに及ばないから勝負をしよう、實は其方と勝負に來たのだ、サア支度をしなさい」弟子達は驚ろいた、若し師匠が負けると自分達は御付合ひをしなければならぬ、とビク〳〵して居る、頓て浦邊藤藏は面小手を付けて出て來た、吉岡は羽織を傍へ置き襷を十字に綾どり精附木劍を携へて控ねて居つた 藤「吉岡氏面小手を付けさつしやらないか 吉「馬鹿な事を云ふな面小手は稽古を致すが爲め付ける道具だ、亦道具外れを覘つて打つ樣な者と仕合に道具を付けるに及ばぬ、素より遺恨あつて仕返しに來た勝負であるから素面素小手が當り前だ、面小手が付けたけりや貴樣だけ付けろ、拙者は打たれる心配がないから付けないでも宜しい 藤「其れなれば其れで宜しい、拙者も面小手を取る」と浦邊藤藏面小手を取つて其處へ置き、ヤツと言つて双方共に合青眼に付けた、治太夫先生莞爾〳〵笑ひながら 吉「清十郎、斯んな奴に負けたのか、サア貴樣の仕返しをしてやるから待つて居れ」といつて頓て一聲叫んで治太夫先生突然飛込んで浦邊藤藏の肩を打つた 藤「參つた 吉「聞ゑない」と躍り掛つて腰骨の處を十五六本打つた 藤「參つた〳〵」治太夫先生チツトモ聞ゑない振りをして又ヒシーリ〳〵 藤「參つた〳〵恐入りました」と其所へ兩手を突きました 吉「やう〳〵聞ゑた、是で一寸の指南をしようといふのは片腹痛い、殘念に思ふなら、いつ何時でも仕返しに來い、コレ門人師匠が斯ういふ負けを取つて見れば貴樣達も殘念であらう此所へ來て勝負をしろ 門「參りました〳〵 吉「そちらは何うだ 門「此方も參りました」そこで治太夫木劍を踏折り 吉「サア清十郎先達ての意趣返しをしてやつた笑つてやれ〳〵」清十郎頰が痛くつて笑ふことが出來ないけれども我慢して 清「オホヽヽ 吉「手前のは笑ふのだか泣くのだか分らないサア歸らう」といつて其儘歸つて了ひました、ソコで三百人の弟子が皆な愛想を盡かして浦邊の道場を下つて了ひ、治太夫先生の所へ來て皆な弟子になりました浦邊藤藏は面目を失ひ遂々夜逃げをして仕舞ひました、玆で吉岡治太夫の名前は高くなつて、道場は盛大になりました



伊藤耳鼻咽喉科醫院
京城本町三丁目(壽座南隣) 電話二三七七番
醫學士 伊藤應隆

皮膚科 入院隨意(診察夜九時迄)
皮膚病 徽毒病 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元町) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

五月廿九日九星
舊四月廿八日丙寅
本命七赤四緑先勝

▲七赤 ふさ手を生ぜんとす [illegible] ▲八白 力を得る日 [illegible] ▲九紫 不退の日なれども [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 [illegible] ▲三碧 氣に入らぬ事多き日 [illegible] ▲四緑 [illegible] ▲五黃 [illegible] ▲六白 [illegible]

公告　京城地方法院

左ノ不動産ヲ左ノ時日ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

● 京城府御成町百壹番地
一 垈貳拾貳坪 最低競賣價額金參拾參圓也
一 右地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟 此建坪七坪九合壹勺五才 最低競賣價額金九圓五拾錢也
右競賣申立人 宋潤玉　不動産所有者 姜周卿

● 高陽郡龍江面阿峴里貳百拾七統五戸
一 垈拾五坪九合六勺 最低競賣價額金百貳拾八圓也
一 右地上ニ建設 瓦葺木造住宅壹棟 此建坪拾五坪壹勺 最低競賣價額金百五拾圓也
右競賣申立人 石橋久太郎　不動産所有者 姜友喆

● 京城府杏村洞八拾九番地
一 垈四拾八坪 最低競賣價額金四拾八圓也
一 右地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟 此建坪貳拾參坪參合七勺 最低競賣價額金貳拾六圓八拾五錢也
右競賣申立人 宋潤玉　不動産所有者 金河正

● 京城府齋洞五拾九番地
一 垈四拾壹坪 最低競賣價額金貳百五圓也
一 右地上ニ建設 瓦葺木造平家建本家壹棟 此建坪九坪參合 最低競賣價額金百六拾七圓四拾四錢
右競賣申立人 坂井純一　不動産所有者 金容俊

● 高陽郡延禧面細橋里
一 畑參千四百五拾坪貳合七勺 最低競賣價額金四拾貳圓也
右競賣申立人 [illegible]德　不動産所有者 金澤圭

● 京畿道始興郡北面堂山里參百貳拾九番地ノ參
一 [illegible] 地上ニ建設 木造[illegible]家建本家壹棟 此建坪參拾參坪 最低競賣價額金參百參拾圓也
右競賣申立人 株式會社漢城銀行　不動産所有者 [illegible]郎

● 京畿道始興郡[illegible]
一 田壹千六百九拾坪 最低競賣價額金百壹圓也
右競賣申立人 李奉民　不動産所有者 朴永壽

● 京城府社稷洞壹五七番地
一 垈貳拾坪 最低競賣價額金貳拾四圓也
一 右地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟 此建坪[illegible] 最低競賣價額金[illegible]九拾錢也
右競賣申立人 金太元　不動産所有者 金永植

● 京城府公平洞百貳拾番地ノ壹
一 垈七拾七坪 最低競賣價額金參千九百八拾貳圓五
右競賣申立人 金文鎬　不動産所有者 中[illegible]晟

一 右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家壹棟 此建坪拾六坪四合四勺 最低競賣價額金百四拾壹圓八拾四錢 (一)
一 木造瓦葺平家壹棟 此建坪四坪貳合 最低競賣價額金六拾壹圓六拾八錢也 (二)
一 木造瓦葺平家建本家壹棟 此建坪四坪五合 最低競賣價額金[illegible]四錢也 (三)
一 木造瓦葺平家建本家壹棟 此建坪五坪五合 最低競賣價額金百拾壹圓拾貳錢也 (四)
一 木造瓦葺平家建本家壹棟 此建坪七坪八合 最低競賣價額金九拾九圓拾八錢也 (五)
右競賣申立人 池上英三郎　不動産所有者 閔泳璘

● 京城府崇仁洞百七番地
一 垈六拾壹坪 最低競賣價額金參百五圓也
一 右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家壹棟 此建坪九坪七合七勺
一 同 附屬[illegible] 最低競賣價額金百參拾六圓五拾錢也
右競賣申立人 南鴻祚　不動産所有者 孟致俊

● 京城府桃花洞百八拾六番地
一 垈參拾九坪 最低競賣價額金貳拾七圓參拾錢也
一 右地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟 此建坪五坪參合五勺 最低競賣價額金五拾圓貳拾錢也
右競賣申立人 劉敬愛　不動産所有者 尹於水劍

● 京城府蓬萊町壹丁目八拾參番地
一 垈百參拾四坪 最低競賣價額金千參百九拾貳圓也
一 右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家壹棟 (一)
一 附屬木造瓦葺平家建[illegible]壹棟 (二)
一 [illegible] (三)
最低競賣價額金參百九拾七圓也
右競賣申立人 宋榮受　不動産所有者 朴[illegible]

● 京城府齋洞六拾四番地
一 垈拾四坪 最低競賣價額金貳百圓也
一 右地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟 此建坪七坪九合 最低競賣價額金四拾四圓也
右競賣申立人 宋[illegible]　不動産所有者 [illegible]

● 京城府[illegible]
一 垈[illegible] 最低競賣價額金六拾圓也
一 右地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟 此建坪八合七勺 最低競賣價額金[illegible]
右競賣申立人 [illegible]　不動産所有者 [illegible]

● 京城府仁寺洞[illegible]番地
一 垈[illegible] 最低競賣價額金貳百九拾圓也
一 右地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟 此建坪[illegible] 最低競賣價額金[illegible]
右競賣申立人 [illegible]　不動産所有者 [illegible]

以上競賣期日ハ大正五年六月七日午前十時

商業登記公告

株式會社漢湖農工銀行開城支店登記事項變更
大正五年五月貳拾日第四回社債殘額金參萬圓償還シタリ
一 金貳拾萬圓
開城地方金融組合長孫鳳祥任期滿了ノ處大正五年五月貳拾四日重任
右大正五年五月貳拾六日登記
京城地方法院開城支廳

日韓瓦産株式會社取締役喰田勇八、古莊幹、内藤正義、松村時次、深水清及監査役林千八、平野時大、生駒直八各任期滿了ノ處大正五年五月拾五日重任シタリ
右大正五年五月貳拾四日登記
株式會社漢城銀行ハ大正五年五月貳拾四日支配人李升鉉ヲ解任シタリ
右大正五年五月貳拾五日登記
京城地方法院

工事請負

一 順化院附屬細菌檢查室及同渡リ廊下
此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上トス
入札者ハ京城府内ニ於テ國稅、地方費年額十圓以上又ハ府稅、學校組合費年額三圓以上ヲ納ムル者ニシテ滿二ケ年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル
入札希望者ハ本府會計係ニ就キ入札心得書、契約書案、仕樣書、圖面、現場等熟覽ノ上六月二日午前十一時限リ同會計係ニ入札スヘシ
右ニ就キ設計書ハ開札ハ同日午前十一時即時ニ
此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔當ス
大正五年五月廿七日
京城府

ミツワ石鹼

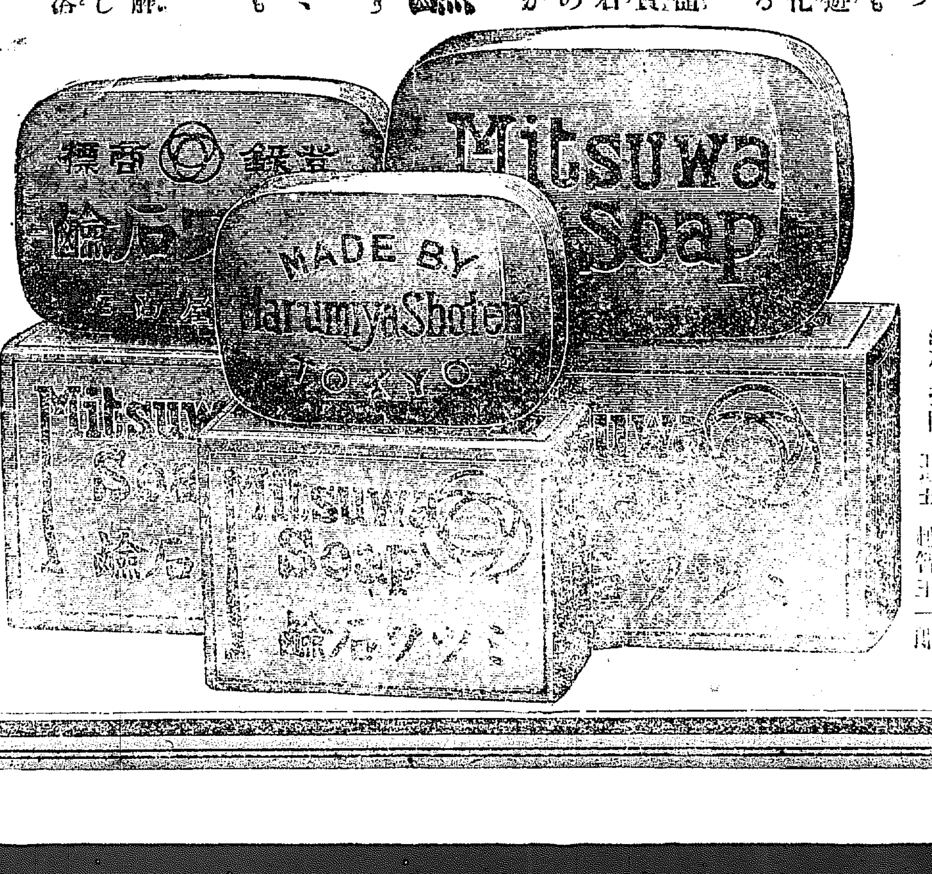
凡そ石鹼は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等各用途に從つて其種類を異にすと雖も、而かも皆等しく、遊離の脂肪なく、遊離の亞爾加里なく、些の混合物なき化學上の純石鹼たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。皮脂の分泌量多くして而かも粗髓なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

ミツワ石鹼は化學上の純石鹼たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に香料に、若しくは刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。
二、溫雅の芳香を有す。
三、細き泡沫を生ず、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する、理想的實用石鹼なり

▲賣捌=全國到る處の小間物店。化粧品店。藥舖。洋酒食料品店▼



擔任技師 工學士 藤野太治郎 工學士 越智王一郎

本舖 ミツワ石鹼 ミツワ椿油 ミツワ家庭藥 肝油ドロップス 御園化粧品
發賣元 登錄商號 丸見屋商店
東京市日本橋區橋町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電信略號(〇ミヤ) 振替口座東京七一〇〇番 浪花三〇番 營業部電話 浪花[illegible]番

京城日報

第三版

廿八日朝刊（夕刊と合せて八頁）

發行所　京城日報社

下關與米特電　仁川米豆

二十七日　後場大阪前廿十五圓三十錢後安二十八錢の入進にて京地富中川來不申先十二圓二十七錢と二錢安に寄付たるも相場の保合に一向……

廿七日の七月限

五月限　六月限　九　四　十七　百石

京城論壇

満洲に於ける工業振興策

朝鮮銀行満洲總支配人　太田三郎

満洲と朝鮮とは鴨緑江の一帶水を以て地域を異にするのみ、從て交通通信の機關は脈絡一貫して些の間然する所なく、双方の事情は一般に互りて了解せられ、玆に今更取立てゝ満洲に於ける經濟上新奇の現象問題の塞ぐべきもの之なきに似たり。唯三余の見る所を以て朝鮮に於ける識者の參考に供せむとす。而も之れ或は識者の既に熟知せらるゝ所ならんか。近時満洲に於て最も吾人の注目を惹けるは工業に關する施設の漸く盛ならんとする現象なり。例へば満鐵會社が撫順を以て満洲に於ける大工業地たらしめんとする計畫の下に、諸般の施設を爲し居るが如き即ち其一なり。満鐵が此の計畫を立てたる所以は、満洲に於ける石炭の寶藏とも稱すべき撫順に產出せらるゝ石炭を、鐵路大連に送り、更に各方面へ輸出すると同時に、斯の石炭を利用して撫順に大動力を起し、地位上比較的低廉なる動力を以て撫順附近に幾多の工業を起し、以て満洲に於ける工業の集中を行ひ、經濟的なる地方分業の効を收めんとするにあるが如し。此の大方針の下に満鐵は本年度に於てモンド瓦斯九千基ワット增設の計畫を立て、從來の三千基ワットと合し一萬二千基ワットの動力たらしむべく、而して其内五六千基ワットは、東京電氣化學興業會社によりて撫順に新設せらるべき窒素肥料工場に向つて配給する内約ありと傳へられ、會社は既に技師を撫順に派遣し居れり。

斯くの如き方針を以て、満鐵は爾今一方には年々撫順に動力設備の增加を計ると同時に、他方には此の原動力供給地たる撫順を中心として、新事業の勃興を誘發するに努力すべしと思はる。撫順に於ては、燃料の廉價なる爲め、動力一基ワットは四厘弱に過ぎずと聞く。之を朝鮮京城仁川方面の動力費に比すれば、十分の一にも足らざる廉價なり。而して満鐵は、必ずしも單に撫順にのみ此の動力を利用し、工業の集中を撫順にのみ期せんとするにあらずして、必要に應じては、更に之を奉天に導き、以て奉天に於る工業の振興に備へむとする方針なりと聞く。之を奉天に延長して用ふるも、尚且一基ワット當り四厘五毛に過ぎずと云ふ。奉天の地たる渾河流域の大平原に位し、四通八達、交通の要衝に當り、將來工業地として大に發展し得べき素地を有するが故に、満鐵の此の動力供給計畫と相俟て漸次工業の勃興を見るに至るならむと信す。現に奉天には煙草工場豆粕製造所等の經營せらるゝあり之等既存の工場も亦、低廉なる動力の供給を得るに於ては、營業上の利便頗る大なるを喜ぶに至るべし。論者或は言ふ。寒氣酷烈の地は工業に適せずと、然れども余を以てすれば、斯の如き説は未だ事實に迂なるものと謂はざる可らず。彼の露西亞に於けるペトログラードの如き、莫斯科の如き、又獨逸北部地方の如き、之を緯度よりすれば、撫順奉天より更に遙かに北方に在り。然かも是等の地方に於ける工業經營は、氣候の爲めに阻碍せらるゝなく、順當に進み居るに非ずや。尚ほ鞍山站に於て満鐵が鐵鑛の經營を企畫せる如きは吾人の注目に値すべし。但だ未だ余は該計畫の内容を詳知せず玆に槪要を語る能はざるを遺憾とす。

朝鮮満洲の經濟關係が、遂年密接の度を加へつゝあるは改めて言ふ迄もなきが然かも、鮮満貿易の數字は、存外著しき增進を見ず。是れ鮮満兩地の生產品が、略類を同じくし、彼此の間有無相通ずべき物資の鮮なきに因由するものと見るを妥當とすべし。目今朝鮮より白米の満洲に入り、關東州より鹽の朝鮮に來る以外に、出入品の數ふるに足るもの甚だ少し。故に鮮満兩地方の經濟關係を實質的に密接にし、貿易を盛ならしめんとせば、双方に於て工業を振興し以て特產工業品を增加し、之に依りて相互ひに需給の途を開くに若くはなし。朝鮮は帝國の大陸經營に於ける最も重要なる足場たる關係に在り、帝國の北方經營に於て、朝鮮は實に中堅たる地位に居る。此の故を以て朝鮮に於ける識者が、今後満洲を觀察するに方りては眼光の更に鋭利にして、満洲經濟界の趨勢を、漫然看過せざらんことを希望に堪へざる也。

三道隨行記

中島生

十一、忠北の玄關

○十二日午後二時十分、總督の一行は臨時列車にて大邱を發し、満洲に向ふ。金烏山、秋風嶺、伊院、大田等に停車し、各驛の迎送者甚だ衆し。秋風嶺驛には柳忠北道長官等來り迎へたり。六時廿五分芙江に著し。總督は驛前に於ける出迎者に接したる後直ちに自動車を清州に驅る。

○余は忠北道廳の人並に清州の有志と同乘したり爲め、路すがら沿道の狀況を是等の人々より聞くことを得たり。

○京釜幹線の忠清北道を貫く部分は其距離甚だ長しとせず。北東に鳥嶺の孑形に伸びたる此道の西南の隅を通ずるのみ從て鐵道交通は至便なりと云ふを得ざる爲め、忠北の道路は物資集散の最要路として、地理上の理由より頗る發達の見るべきものあり。清州と忠州とを連絡する道路の如きは、二等級に屬すと雖も、其交通上の價値は、蓋し忠北に於て今日甚だ大なるものと謂はざる可らず。而して鐵道幹線と、地方行政並に經濟の中樞地たる清州とを連絡する要路としては、鳥致院清州間、並に芙江清州間の二線あり、前者は二等路、後者は三等路、共に鐵道よりの距離略相同じく、二等路三角形の緣邊を形づくるの觀あり。故に忠北の鳥致院と芙江とにして、此の兩驛は即ち忠北文明の玄關にして、前記二道路は之が徑路たりと謂ひ得べし。

○然るに鳥致院は、忠清南北道の境に在りて忠南に屬し、芙江は忠北道の境に在りて忠北に屬す。故に地方的に云ふ時は鳥致院は忠南の門戶にして、芙江は忠北の玄關也。鳥致院は清州方面へも公州方面へも、交通の地位に居るが故に、同時に兩門たるの物資集散の殷盛なる、到底今日の芙江の及ぶ能はざる所なるが如し。之れ忠北人士の遺憾とする所以にして、大局より見て其の孰れが餘計に發達するも差支なきが如くなれども、地方の利害關係よりして忠南の鳥致院單り繁榮を誇り忠北の芙江が悄然不過を喞つの現狀を遺念とするは忠北人士の意中も無理からざるなり。

○乍併芙江の地、亦交通の要衝に當り、附近の農產豐かにして、加ふるに錦江上流運航の終點に當り、水陸共に運輸の利便を備ふ。將來芙江は必ずや芙江としての特色を發揮すべく、其の繁榮は一に忠北產業の振興如何に係るべく、清芙間の道路が今後利用せらるゝことの大なるだけ芙江が集散地としての價値は增加すべき筈なり。

如何にして内地に朝鮮を紹介す可きか(一)

喫緊の要務—在京諸名士の意見

如何にして内地に、朝鮮を紹介す可きか此の題目は、紹介される可き朝鮮そのものに對しても、また紹介を受ける内地の人々に對しても、聊か趣味の深い題目であるかも知れない。何故なれば一は帝國の新領土となつて既に六年、一箇の價値の多い政治區域經濟區域であり、一はまたその新領土を把握した人々であつて見れば、當然其間に相當の理解がなければならぬ筈であるから――。併しながら、『否』は必しも否である筈が無い。今日、此題目を京城日報紙上に提供するの必要を認めなければならなくなつたのは、是非もない次第である。『朝鮮には銀行がありますか』『朝鮮?……まるで外國のやうな感じがする』此種の質問と感想とが多くの内地に居る内地人から與へられた私は、現に角朝鮮に縁故のある諸士に就いて、此問題の解答を求めて見た。在鮮諸君子のために多少の參考ともならば幸甚である――(東京にて　高賀生)――

▽先づ操觚者の奮勵に俟たん

陸軍軍擴總監　藤田嗣章氏談

寔に御同感である。内地の人達が朝鮮や臺灣などの新領土に對して、殆ど正當の知識を有して居ないことを立證する實例を屢々見聞するのは實に慨はしいことであつて、高等の知識階級を率ゐて立つ可き要路にある人までが、昨年の共進會を見て初めて朝鮮が斯んなに開けて居ようとは思はなかつたなどゝ感想を述べてるのは、一面からいふと苦々しいわけで却つて遠くに離れてる外國人、特に米國人などは常に總督府の年報其他の材料で著實な研究を怠らず、正鵠を得た意見を發表してることが往々ある。

□朝鮮欄の設置を必要とせん

要するに、殖民地——新帝國のことは、家常茶飯事として、不斷に内地人の耳目に觸れしめて置く可きもので、それには新聞紙の努力などが、最も有効にして必要なものではあるまいか。假りに今、東京大阪の大新聞が、步調を揃へて、朝鮮のために、一欄を設置し、毎日當に朝鮮に關する大小の報道を怠らなかつたとしたら何うであらう、一年ならずして、國民が朝鮮に對する知識感情が一變することは受合である。此點なぞは、國民新聞なぞは、夙に朝鮮とは古い關係があり、從來も朝鮮のために種々盡力されたのだから一步を進めて、率先して、朝鮮に關する欄を設け、國民教育に資せられんことは希望に堪へぬ。

□誤れる紹介方法を排斥す

併しながら、其紹介方法に就いて、一言婆言を陳べたいのは、他でもない、世間で朝鮮を紹介するものは從來、朝鮮固有の文明なり風俗なりをのみ記述するに止まり、また今もその風があるから、これは全然やめて了つて、如何に朝鮮が新らしく變りつゝあるか。如何に朝鮮が内地化して行きつゝあるか、といふ點の説明に重きを置いて貰ひたい。昨年京都に御大典博覽會を見に行つた時、臺灣の喫茶店に行つたら土人の茶汲女が出て來た。話しかけて見たが、日本語の片言もわかつて居ない。そこで、新任の民政長官に會つた時も言つてやつたが、僕等が十幾年前臺灣を去つた時には土人の小供は、日本語の片言位は話せたものだ。しかるに、今になつて、却つて日本語の判らぬ若い土人が居るといふのは教育の方針が其當時と變つたためでもあらうが、情ない心持がする。今度、茶汲女を出すならば、悉皆内地化した土人を出して、説明を聞いて初めて土人だといふことが判るやうにして貰ひたいといつて置いた。記事の中に入れる挿畫寫眞なども、如何に彼等が内地人に近づきつゝあるかといふことを示すやうなものを選ぶ方針にすれば、内地人が新領土に對する親しみの感情を誘發する上にも好結果が有らう。

□力ある小數者の綿密なる視察

尙、一つの方法は、全然今迄の朝鮮視察團とは模樣を替へて、各府縣から資產名望があつて、その一言が幾多の移住民を動かし得る底の人物を一二名宛選抜して、時間の制限を窮屈にせず、緩くり視察して貰ふことである。眞に、力のある小數の人に緩くりと見て貰つて、確かりした考へを抱いて貰ふのは、低級なる多數者が驅足的の見物旅行をするのに比して、何れだけ朝鮮のためになるか知れぬ。左樣な催しでもあつたら、私なども、何時でも東道の勞を辭せぬのである。

●鮮人強盜

平安南道成川郡三……走せり……に無料治療方を交渉中なりと……方に困り居れりと

□一句づゝ

(五月廿日會作)

○雄蟻さばしる青楓の幹哉　貫丘

○訪ふ者皆青楓より下りたり　田柿

○青楓の雫落つ川夕照れり　虎耳

○千魚の腹干が透ける青楓　鳥堂

日報歌壇

大石青い灯

ものなべてわが悽にいだかまく春の陽なかは涙ぐましも

いと小さくはぐゝみて來したまなれば春の若野に放つべしさや

しんしんといのち伸びゆく音きこゆ三月頃のしとまなる野は

めぐみ充つ大天地にひれふしてわが額はしも息すゝり泣く

走り來て四月の草にまろべれば心さ青に波うちしかな

わが心寂しくもだすかたはらにたそがれ頃の鶯啼ひてゐし

かりそめの人のことばにうち興ず寂しきすべをふりかへる心

盛り場をのがれ來りし如くにも心たまゆら寂しう[illegible]ふ

泣きぬれし心大きくふり仰ぐ春の大空靜かなるかな

いつしかに小石蹴りつゝ歩みゆく旅の子なれば寂しきならはし

日報俳壇

鷄合

鷄負けて姉色聊かに士衆かな　團水

鬪鷄も終りて草の風强し　露風

春風

春風や工事の人よゆる酒旗　求青

春風や來年の暦はや編める　山民

風光る

逸足を運ぶ日や風光る　菊坡

光風や徒矢しきりに的二寸　團水

春月

夜色迫れば汀添あり春の月　露風

山上俯瞰

春月や蠟燭淡き芝の上　容堂

春雷

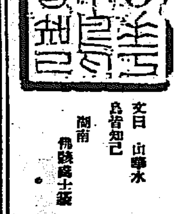
春雷や盲もありて宵集ひ　青眼子

竹藪に風少しあり春の雷　露風

水温む

治道夫役募る鋼雞の音水温む　如風

脂手を洗ふ谷川温みけり　旣山



文曰　山擧水　鳥皆知己　湖南　佛跡庵士篆

商業登記公告

一株式會社朝鮮商業銀行平澤支店支配人登記事項中變更移轉ニ因リ主人ノ住所ヲ左ノ通リ變更ス
京城府南大門通一丁目拾九番地
行政區劃改定ニ因リ支配人ヲ置キタル場所及支配人ノ住所ヲ左ノ通リ變更ス
京畿道振威郡丙南面平澤里百八拾五番地
右大正五年五月貳拾四日登記
京城地方法院平澤出張所

新刊書御案内

書名	著者	定價
採鑛設計	内田銀五郎	一、七〇
幾何は斯の如く解け	[illegible]	九〇
最新中等化學通論	[illegible]	一、八〇
肥料製造論	木田芳三郎	一、三〇
吾が農家の經營	谷本米州	一、二〇
近世支那十講	稻葉君山	一、五〇
英雄史談	上田萬年	一、二〇
哲學汎論	木下四郎一	一、二〇
教育界の表裏	[illegible]	八五
煬帝艶史	三木愛花	九五
校歌ロオマンス	出口競	六五
現代名歌選	[illegible]	八五
汎獨逸主義	[illegible]	一、〇〇
俳通	小波	一、五〇
人の垢	涙六	九五
黑髮集	吉井勇	八〇
地獄の花	永井荷風	七〇
ボチイチエリ	木村莊八	一、〇〇
霧の王國へ	別所梅之助	一、〇〇
捷物外八篇	チエーホフ	九五
白露紅露	[illegible]	五〇
合歡の花	田山花袋	九五
野球年鑑	朝日新聞社	三五

京城本町　大阪屋號書店　電話二〇八六　振替京城二五七三

山へ山へ（主筆大町桂月）

朝鮮からの珍客ヌクテイ　黑川技師
英語講話　諸名士訪問記　縣賞考物
試驗準備（江原素六氏の講話　及杉安井兩教授の試驗問題あり）
一商人學
神經衰弱撲滅（正一木坂）
大外交家タレーラン……長岡法學博士
將來の燃料とアルコホル（島田慶二）
熊谷直實
萬國電信法は田中館博士　氣象の代辰千岸上博士　櫻を觀る記は田中學士
主筆　大町桂月
定價二十錢三月分六十錢　税共廿錢半
英字新聞　附錄
夕月（柳川春葉）　羽衣　獨英
空中戰をキャプチュア　學生漫畫
少年（吉田博士）和共

學生

自然と色彩（松本文學博士）
蟻の農業（杉本博士）
血湧き肉躍る利根遠漕（小詩七篇）
英文（吉岡教授）
三千年前（江見水蔭）滑稽物語（三太郎）
伊藤公の鼻（桂月）
トム爺（西村醉夢）
の部屋　酒落博士　職業指針　造船
東京神田　富山房　振替一〇五

三木愛花先生新譯

千古風流　煬帝艶史

菊半截天金裝幀瀟艷口繪木版極彩色刷　定價九十五錢　送料金八錢

四百餘州、三山五湖十二別院四十九離宮、數里の御苑千室の迷樓に數萬の妃嬪宮女を滿たし、月夜三千の美人と馬上樂を奏して淸遊を試み、千里の柳堤に數千の嬌女に龍舟を曳かしめし如き、隋の煬帝の風流豪奢は世界古今に比類を見ず、麗文綺語史實に繼れる艶史一讀魂飛び情走せしむ。

京城　大阪屋號　電話二五六　振替三三四八

レコードPOP多數著荷

一打金六圓二十錢に値下げ仕候

京城明治町二丁目

東京小西特約代理店
寫眞機械及材料直輸入商　長崎屋商店
電話二二三　振替京城三一八〇番

桐生悠々氏・松崎天民氏序　婦人記者小林榮子女史著

尼になるまで

■嚴正なる各新聞の本書に對する批評に聽け

■やまと新聞曰く。本編のヒロインは不倫の血をうけた彼女の運命も亦頗る數奇なものがある、生れながらにして不自由の身となり、男の冷酷な仕向を見る毎に、戀に破れ、愛なき結婚に苦しめられ、遂に沈んで……

四六版紙數二百頁　特價金貳拾八錢　送料金四錢

發賣忽五版

四十五版　お目みえ廻り　特價廿八錢　送料四錢
花柳小説　蝶の饗　定價六十五錢
六版　女學校のぞき
七版　女百態
發行所　東京日本橋區　啓興社

新法令　帝國議會史
第三十六回　第三十七回

五月廿日發行　定價金卅五錢　郵税八錢　東京本町　博文館

太陽增刊
新法令　議會史

「太陽」年中行事の一として其眞價に就ては江湖既に定評あり、昨年五月以降最近一年間に公布せられたる重要法令を蒐錄して整然たる分類に依り、法治下の國民として至便の本誌を座右に備ふるの必要なる多言を須ゐず。
議會史は右法令制定の背景をなすものにして内面的に之が解剖を施し、波瀾重疊たりし第卅六、卅七議會の經過を叙述論評すること精到的確、「新法令」と相對して最近一年間の重要記錄を作る、一個獨立の單行本とするも現下緊要の好著たるを失はざる也。

萬人萬戶必備の雜誌

料理の友

◎六月號要目…美麗なる彩色寫眞十數個と寫眞木版等百餘個を挿入す
◎最も効果ある食事の仕方（二木博士）◎生活費の節約法（小林校長）
◎物價騰貴と安價生活（東鄕博士）◎女中無しの簡易生活と住宅（三角女史）
▲初夏の食卓を賑はす晩餐の御馳走▲あつさりとした酒肴料理
▲日曜日の御馳走家庭西洋料理▲一品五錢で出來るお惣菜……六種
▲改良した新式客膳▲新馬鈴薯料理十種▲平民的なお惣菜（料理）
▲通人の喜ぶ初鰹料理▲胃腸を寄せぬ衛生的なお菓子の拵へ方數種
▲滋養豐富な豆類のお料理七種▲家庭に必要な夏季の飲物

一冊二十錢　送料一錢　新便法

東京芝大日本料理研究會

小兒科　内科

特に呼吸器胃腸腎臟病
腺病胎毒小兒眼疾

京城吉野町（元仲ノ新地遊廓跡）

入院隨意　雨森醫院

○奉天の爆烈彈騷ぎ

湯旅團長重傷＝死傷二十餘名
邦人も死傷あり＝又邦人家屋破壞

二十七日中村關東都督を出迎へたる後歸途に就きたる支那大官は城內三箇所に於て爆烈彈の襲擊に遇ひたり張作霖將軍は途中にて變を聞き難を免れたるも湯旅團長は重傷を被り其他死傷者廿餘名邦商家屋破壞三軒邦人にも死傷者あり騷擾甚だし（奉天特電）

▲別報 二十七日午後零時三十分中村關東都督の來奉を出迎へたる張奉天將軍は同一時卅分歸城の途次數名の兇漢に爆彈を投せられ護衛兵三名慘死し更に城內西華門附近にて又兇漢より爆彈を投ぜられたるも共に將軍に中らず無事公署に入る二回目には巡警數名の死傷あり兇漢は革命黨員ならんと云ふ奉天は之が爲め大騷動を起し人心恟々たり（大連特電）

○濟南邦人危殆に瀕す

亂射亂擊益激し＝日本婦人重傷を負ふ＝支那官兵恃むに足らず

其筋著電に曰く山東省濟南府に於ける砲彈騷擾事件は二十五日夜十一時頃に至り小銃の亂射亂擊益々激烈となり日本人家屋にも命中せるもの多く二十六日に至るも猶止まず領事館の西方一町餘の林某なる日本商人の妻の寢所に戶を貫きて命中し妻女は貫通重傷を負へり因つて我が守備隊は已むを得ず其の應急策として警備に努めつゝあるも守備隊其ものさへ危險なる領事館日本居留民外國人等總て危殆に瀕しつゝあり支那人の被害者は最も多き樣なり其の筋にては支那官兵の警備能力甚だ微弱なるを以て之を撤退せしめ日本守備兵を以て之に代らしむる方法を講じつゝあり（東京特電）

○ヴェルダン戰頗る激烈

巴里來電に據ればヴェルダンに於ける戰鬪は依然盛にして公報の傳ふる處に依れば三〇四高地モルーム丘及びキユミエール正面に於いて猛烈なる砲兵の接戰あり佛軍の爆彈隊は夜間を利用してキユミエール東方の叢に進出せり强大なる獨軍の攻擊の結果ハウドロモン石切場北方の一塹壕に地步を得たりドーモン地方には彼我交互に頗る猛烈なる砲戰繼續すと（倫敦電報）

○ヴ東北方獨軍の進出

獨逸側の主張

ヴェルダン東北の獨軍は六百名の佛軍を捕虜としミユーズ河兩岸に沿うて進出せりと主張す（桑港電報）

○芳川伯參內

工場法特別委員會經過奏上

芳川樞密院副議長は二十七日午前十一時參內御座所に於て天皇陛下に拜謁仰付けられ工場法施行令特別委員會の經過に就き委細奏上する所あり種々御下問に奉答し直に退出せり（東京特電）

○首相私邸の凝議

工場法施行令行惱に就き

二十七日午前十時より大隈首相私邸に於て工場法施行令善後策協議會を開き大隈首相河野農相一木內相江木翰長高橋法制局長官等參集樞密院特別委員會に於ける同施行令審議行惱みに對し來る六月一日の施行期を延期するか他に適當の方法を講じ同日より實施するかに關し鳩首凝議する所ありたり（東京特電）

○武富藏相と大阪

武富藏相は二十七日夜大阪に來着したるが一泊の上二十九日歸東の途に就くべし（大阪特電）

○銅相場の激落

倫敦の銅相場は八磅に激落せり（大阪特電）

○木浦海軍記念日

二十七日海軍記念日に付公會堂に於て祝賀會を開く來會者多數にて頗る盛會なりき（木浦特電）

○稚蠶共同飼育

收繭一萬五千石

稚蠶共同飼育は養蠶家をして育蠶の方法を實地に習得せしめ、其改良を圖り得るのみならず、育蠶經濟を圓滿にし兼て共同心を涵養する等直接間接に養蠶家を利すること甚大にして朝鮮の現況に於ては蠶業の改良發達上須要缺ぐ可からざる事業なるを以て先年來各地方共に之が獎勵に努めたる結果逐年進步し大正四年には其の共同飼育所數二千三百十二箇所共同飼育戶數三萬六千四百十九戶を算するの盛況を呈し、前年に比し共同飼育所數に於て六割、共同飼育戶數に於て

▲五割六分の增加を示せり、其の事業成績は蠶種掃立量五萬九千四百四十五枚に對し繭一萬四千七十一石を收穫し、內八千四百一石を販賣して二十三萬一千二百十二圓を得たり、之を前年に比すれば蠶種掃立量に於て五割五分、收繭量に於て五割一分、繭販賣數量に於て五割四分、同價額に於て七分の增加とす是等の事業は主として地方費又は授產費補助の下に經營せるものにして

▲獨立自營の域に進みたるもの未だ少しと雖も近來稚蠶共同飼育の利益を了解し、自ら進むで之に加入する者漸く多きを加ふるの狀況にして之が經營方法も漸次經濟的となり本年の如きは其の經費總計六萬七千九百七十三圓即ち共同飼育戶數一戶當平均僅々一圓八十七錢の少額に過ぎずして之を前年の二圓四十七錢、前々年の三圓七錢に比すれば多大の節約と謂はざる可からず、又事業成績の內容に就て見るに大正四年は育蠶期に於ける

▲氣候概ね適順ならざりし關係に依り收繭の成績は掃立蠶種一枚當り二斗三升七合にして前年に比し二分を減少せりと雖も同年の稚蠶共同飼育に加入せざりし一般養蠶家の同一枚當り收繭量二斗一升二合に比すれば一割二分の增加を示せり、尙ほ蠶繭は歐洲戰亂の影響に依り其價格著しく下落し一般に賣惜みたるにも拘らず其の販賣數量は總收繭量の六割に相當し共同飼育に加入せざりし一般養蠶家の

▲其の割合四割なるに比すれば著しき差あるを知る、之を要するに大正四年の稚蠶共同飼育は前年に比し著しく普及し、又概して良好なる成績を收めたるのみならず多大の經費を節約し克く其の效果を舉ぐることを得たるは注目に値すべし之を地方別に就て見るに未だ其の事業の振はざる地方若くは收繭の成績良好ならざる地方あるを以て將來一層其の普及に將た經營に努力し益之が發展を圖らざる可からずと當局者は云へり

○賦課金收入額

本年三月末現計に依る大正四年度地方費賦課金收入額は三月末現在合計百四十一萬四千八百廿三圓にして調定額百四十六萬三千八百四十六圓に對する既收入步合は九割六分六厘を示せり、今之を稅別に示せば如左

▲地稅 調定額一萬八千二百八十五圓に對する既收入額一萬七千六百九十七圓にして其收入步合は九割六分七厘なり

▲市場稅 既收入額二十萬八千八百九十九圓にして調定額二十二萬四千四百四十六圓に對する收入步合は九割三分なり

▲屠場稅 既收入額六十萬二千七百三十四圓にして調定額六十二萬八千三百六十七圓に對する收入步合は九割五分九厘を示せり

▲屠畜稅 調定額四萬二千二百六十圓に對する既收入額四萬二千百四十一圓にして其收入步合九割九分七厘に達せり

○滿洲大豆の滯荷

從來滿洲大豆の內地に輸出せらるゝものは殆んど大連經由にて其の鮮鐵を通過するは僅少なりしが本年に入り海運界の盛況に連れ大連內地間航路就航船の船腹著しき不足を告げ運賃昂騰せると鮮鐵の荷主對穀類特約運賃協定等の爲め三月以來滿洲大豆の鮮鐵經由內地に向ふ物少なからず現に三井物產扱ひに係る分のみにて最近までに約八千噸を算し其の他約四五千噸を下らざるべしと云ふも何分連絡船の船腹裕かならざる故釜山の荷捌き捗々しからず一時埠頭は稀有の堆貨を見しが其後鐵道院にて貨物船を廻航し其の運送に努めたる爲め今日の所約千三百噸の停滯に止まるも近く一掃さるべし何分右大豆は六月の田植後に用ゆる豆粕製造を主とし味噌醬油用等にして其の運搬は急を要するものゝ由

○釜山の貨物堆積

鐵道院臨時船傭入

關釜間船腹不足にて一時釜山埠頭に三千噸餘の貨物累積し其荷捌方法に窮し居たるが漸次減退して現在にては千數百噸に過ぎざるに至りしも此貨物累積の爲め朝鮮及び滿洲各地より發荷の手控へを爲し居るものあり是等が釜山の荷捌狀況に隨ひ盛に發荷すべく其額一日七百五十噸內外に上るべし即ち是等滯滯せる貨物輸送の爲め鐵道院にては伊智丸（一、二三五噸）を借入れ貨物專用として關釜間の往復を爲さしむる事となり廿六日下關を發し釜山に回航廿七日より直に荷捌に著手する手筈なるが豫定は五往復十日餘りにて鮮滿に於て滯滯せる貨物の輸送を了する豫定也

○關釜間臨時貨物傭船

關釜間貨物積滯の爲め伊智丸を傭入れ荷捌に當らしむる事とせるが更に櫻丸を傭入れ三十一日より來月三日迄に往復二回の航海を爲さしむる事となれり關釜連絡船一日の貨物輸送量は今後五百八十噸內外なりと

○地籍簿の引繼

土地調査局にて土地調査を終了し地方土地調査委員會の査問を終り公示期間を過ぎ異動の整理を終りたる各郡中土地臺帳地稅名寄帳地籍圖其他の引繼ぎは土地調査局にて六月一日は京畿道漣川楊州兩郡三日は慶尙南道宜寧咸安六日は忠淸南道燕岐保寧八日は平安南道江西郡九日慶尙北道開慶醴泉及び京畿道高陽郡十二日京畿道長湍郡を實行する由にて目下調査局は其の準備の爲め多忙を極め居れり

○人蔘耕作者表彰式

開城

開城なる度支部專賣課出張所にては六月一日午後一時人蔘耕作者に對する褒賞授與式を舉行す可し

○機業場授產生應募

京城

京城府に於て募集中なりし京城恩賜授產機業場授產生は應募者七十一名に達したるが內甲種志願者五十名中身體檢査の結果新授產生十八名元恩賜授產場より轉入せる者七名計二十五名合格し猶四名の補缺者あり乙種志願者二十一名は甲種合格者の成績に依り追つて身體檢査を爲すことゝせり

○京畿外國人職業別

現在京畿道管內住居する外國人は二千八百四十八戶人口四千零三十二人なるが職業別左の如し

農業牧畜林業四百五人、工業及び鑛業四百八十五人、商業及び交通業千八百四十三人、公務及び自由業三百七十七人、其他の有業者七百六十八人、無職業及び職業を申告せざるもの百五十四人

○東拓總會の一幕（上）

▣先づは無事にて目出度し〳〵▣

此前の總會の時の模樣から察するに何うせ雨も降らう風も吹かうと傍聽に詰めかけた連中が、東京商業會議所の廊下をうろ〳〵してると、同じ廊下をまた井上理事や堀江文書課長やが忙しさうに步いて株主の休憩室を次々に覗いて見て御座る。正に廿二日午後二時。

▼軈て、振鈴一番、衆議院の議場もどきに作つてある會場右方の扉を排して、フロックコートの吉原總裁を先に、監事の松平子爵、井上理事堀江課長等が書記を隨へて一段高いところに陣取ると、縞の羽織やら背廣やらの三十餘名の株主も議席に直る。少くとも百餘名の出席を豫期されてゐるところへ、その半分も無いので空席が頗る目立つ。總督代理入江理財課長は左方一段高きところに着席。

▼議長席の吉原總裁が立ち上つて水を一口、病中の細い聲を振り絞つて開會を宣し、出席株主委任狀共千百六十二名此株數十五萬千九百七十九、決議權數九萬二千九百六十で總會の成立する旨を告げ、さて今期營業報告（營業報告に關する總裁演說は前掲）を朗讀しあつて、語氣一轉。

昨年の十二月の帝國議會に當會社法の改正案が出ましてその案の運命が皆樣御承知の如くで御坐りまして從つて會社の前途は[illegible]……ここに就いて會社の經濟が如何にしてゆくか……[illegible]……此點に就きましては只今略其計畫が出來ましたによつて、更にまた此上大に節減を行うべき……いふことは出來ませぬ。故に收入の增加を圖らなければならぬといふことになつて參ります。……[illegible]……しかし局面を一轉しなければ社が危險であると存じます。私共株主は重役と意見を異にしたために從來或は禮を失した言を用ゐて諸君のお耳を穢したことがあつたかも知れぬがそれは畢竟愛社の精神に出でたことゝ御容赦を願ひまして、ここでは重役諸君が社に對して致された幾多の盡力を感謝致して置きます。唯、尙一言希望を申述べたいのは、昨年株主の議決權を縮少するの案が出ましたが、株主は現在の定款を認めて株主となつたのであるから、今後は法律を以て猥りに定款を改正するといふやうなことはないやうに致したい。それから今後は補給金もなくなることでありますから會社にとつては獨特的事業たる公益的事業は成る可く斷念を願ひたいものである。又千九百萬圓の外債を五分の利で募つて居るにも拘らず運轉する場合に外債の利率位で貸して居られるやうにも見えるから現行利子を奨勵して利率を上げるといふやうな方針をとられんことを希望いたします

と腰を下ろすと、待つて居たと許りに「議長、七番ッ」

▼此の七番君こそ、前總會に重役に肉薄して大阪東拓會の代表者の一人で安宅彌吉君、委任狀百八通と決議權數二萬二千六百餘を握つて、議長の鼻の先に席を占めて居たのだ。曰く。

總裁初め重役諸君が今日社を去らるゝことは誠に私情として忍び難いことであります……（東京支局にて高賀生）

人事消息

▲木下淑夫氏（鐵道院運輸局長） 朝鮮ホテルへ滯在二十八日午後七時五十分發歸東の豫定
▲中村新頭氏（伊太利大使館附武官） 入京中の處二十七日夜內地へ
▲風間吉氏（佛國大使館附武官） 同上
▲松本辯護士 二十七日夜木浦より歸京
▲ピサイチ氏（米國領事） 二十七日朝入京朝鮮ホテルへ

▣南言北語▣

人誰か風流なからんやだが風流にもよりけりで他人に迷惑をかける風流むや恐れ入る▲が中には風流を使て却て人を迷惑がらせて喜んで居るものもあるが之れは愛嬌風流にても屬する部だらう▲上院の論客秋元子爵の風流は義太夫である▲而して其の義太夫が來客驅除法として有名なものだ相な▲或時將に外出せんとして居る處へ政友會の某君が來た▲子爵は直に應接間に請じ「君は義太夫はお嫌ですか、此の間呂昇を聞いたがね……」▲其れから又た出直しまして▲子爵は手を拍てハッハヽヽは之れは風流を防禦に使ふ方で風流活用家だ相な▲風流と云へば高田文相は公務の暇々には花咲かばア、告げんと云ひーシ里のウ……などゝやる▲すると夫人が古い小鼓を持ち出してポン〳〵と合の手を入れるのだから世話はない▲箕浦遞相は顏に似合はず眼光にすきがないと或る處で誰かと云ふと▲其の筈だよ箕浦家は代々槍の師範家で遞相もあれで以前は白襷で大身の槍を構へてエイッとか何とかやつたものだ相だ▲志賀重昂氏は目下地理學研究所を新築中であるが朝から晩迄職工と一緒にシャツ一枚になつてセッセと働いて居ると云ふ▲高等師範の宮澤博士は家を持つのが面倒だと實家の商店の一隅に坐り込んで勉强して居る▲寢臺兼食堂兼書齋になつた居間で讀書に疲れると御神輿製作に餘念がない▲組建から塗り上げから何から何迄自分の手で作り上る相な▲矢ッ張り學者は學者の樣に面白い處がある

○臺灣農民喜ぶ

一箇月振りの雨

……とするの狀況となり陛下數十萬の農民は何れも日々……を望みて降雨を……

○狂犬三名を咬む

素人には見分け難い……明即刻憲兵隊……前出でたり該支那人……あり何ほ表面の印刷不明瞭にて印刷……

○豺の仔を捕ふ

慶北消道郡……所有にして忠南江景附近所在の土地……を托せられたる上里郵錫日（四七）と格鬪し腹部を突かれ廿二日午後三時死亡せしが光州署にて解剖に附したるに全く肝臟破……

現代風俗號

婦人之友六月號

常行奇行怪行 三宅博士
體育を重んずる新傾向
自然に遊樂する米國新風俗
昔と違つた赤坊の育て方
婦人の婚期は次第に遲くなる
華やかで實際的になつてゆく婚禮
西洋風の宴會と日本風の宴會
テーブルで立てるお茶
簡便になつて來た近來の葬式
吉凶贈答と花の途用
現代風俗の觀方 羽仁もと子
簡易生活から割り出した住宅
今後の住宅は何うなるか
入院してお產する人が多くなる
私の一番氣に入つた襦袢おほひ
新式早縫單コートの仕立方
一時間中で東京の花を見る記
十年一昔風俗流行の變遷
此頃の束髮と丸髷の島田
懸賞募集夏向き少女の髮形
長篇小說 朝の歌（波瀾曲折の大好評） 佐藤紅綠

東京雜司ヶ谷 婦人之友社 振替東京一一六〇〇

內科小兒科 皮膚病花柳病 入院隨意
京城日出小學校前 多々見醫院
院主 醫學得業士 多々見五郎 電話九四〇番

內科 特に小兒科婦人科 淺川醫院
京城本町五丁目（郵便所隣）
午前宅診 午後往診
院長 正七位 淺川源一 電話一一三二番

日韓書房 新版報告
田山花袋著 合歡の花 定價九十五錢 送料八錢
幸田露伴著 白露紅露 定價五十錢 送料六錢
坪內士行著 西洋芝居土產 定價一圓四十錢 送料十錢
巖谷小波著 駒のいななき 特價九十五錢 送料十錢
村上浪六著 人の垢 定價九十五錢 送料十錢
京城本町二丁目 電話一四二一 振替口座五〇二七五

時下新綠滴るの候御得意樣各位の御引立を以て日に增し繁榮に趣き候段厚く御禮申述べ候陳者冬洋服御手入れの好時期に相成候に就ては平素多大の御好評を博し居り候弊店獨特のクリニング御試めしの爲め多少に不拘御下命の程願上候其他一般の西洋洗濯も迅速叮寧に勉强可仕候

▣クリニング特色は
一般洋服其の他毛織物の洗濯に其の効最大ならしむる事
色澤を益々鮮明ならしむる事
色彩を變ぜざらしむる事
地質を短縮又は脆弱ならしめざる事
蒸氣消毒を兼帶せしむる事
黑色の日燒を完全に染色する事
其他一般の洋服修理も可致候

京城南山町三丁目
西洋洗濯 クリニング 坂洗濯店 電話三八七番

…治水の缺乏甚しく其の被害漸く大ならんとし加之山地に於ける甘蔗及は樟樹造林も大部分枯死せん…半頭より沛然…朝にして蘇生せるが如く農民は何れも黄金降れりとて喜び合へり（臺中通信）

▲休日明け如何

◉支那の贋造紙幣

…し所三枚ながら贋造紙幣たること判…素惡にして且印刷も…不鮮明の點…り（青島）

寺内總督の工業專門學校視察

◉殖産興業　總督樂燒に揮毫

政務總監蘭を描く　―總督中央試驗所を觀る―

寺内總督は森、高橋兩武官並びに大藤副官を隨へて廿七日の午後中央試驗所内の學校を訪れた。午後二時過ぎ總督の自動車が正門に入る時には全校學生々徒及び職員一同は

門前に整列して

總督を出迎へた。總督はもの、十分間も試驗所の二階に休憩して再び元氣よく實習場見物に向ふとその後からは山縣政務總監を始め石塚、大屋、池田の各長官並びに松永道長官、秋山參事官、關屋局長などの高官から白水參謀長、隈部、山形兩大佐、竹内中佐等の軍人もあれば城法院長、中村檢事長などの法院側の人々もありそれに閔長官、宋秉畯子等の朝鮮貴族野田東拓副總裁等もあつて其數約五十餘名の多數が續いた。猶ほ

珍客としては

塚田大佐、福原男爵等の人々もあつたが所長豐永博士は先づ一行を分析室に案内した。と見れば温泉ラヂウムの測定器だとか籾殻から醋酸をとる方法だとか骨灰のキユーベルで金の分析をする所だとかいろ／＼な面白い實驗がある。總督は鑛物の分析室に立つて「幾らでもおもち下さい……。」と諧謔を言ひながら何處にも熱心な注意を拂つて見て行かれたが次いで

染織試驗室に

來ては染色法や力織機のはたらきを一通り見られた。また場の出口には瓦斯燒機といふのがあつたが之は毛織物及び木綿織に瓦斯織と同じ光澤をつける機械であつた。次に木工部と金工部の陳列場では廣い簞笥や書架や牛鍋などが頗る美事に出來上つて居たが應用化學科の製紙では生徒の紙漉きに感心しながら「此の封筒紙は役所で使つた反古紙で漉いたものゝやうが君の方でも反古を大事にするが好い……」と野田副總裁に話しかけた。次ぎに

自營園の經營

するポツタース製造場では生徒一人が毎月十四五圓を儲けるといふやうな答へを聽いて大變滿足のやうであつた。それから工專應用化學の硫酸製造には一人の學生に向つて「どうだ、面白いか／＼」と、訊きながら日鮮人が恁麼に融和して勉强するのが滿足だと言つて居た。更に木工科から金工科の鍛工場に行つたとき一人のむかうちを指しながら「あれはまだ今春入學した許りの生徒です」と

豐永所長が説明

すると「左樣ぢやらう、どうも手付きが怪しいぞ！」と微笑した。其他板金部では新合金の鮮人向き簪や指輪を見、染織科ではシンナムの新發見染料、手織機等を仔細に見て行つた。また窯業實習室では高麗燒の赤い釉が面白いとて色々な質問が出たやうだつたが施釉室では樂燒の鉢に「殖産興業」の四字を揮毫しまた政務總監は蘭を描いた。また土捏場では二人の内鮮人

生徒が仲善く

陶土をこねるのを見ながら「なか／＼力が要るなう、腹がへるぢやらう！」と微笑した、其の他應用化學科、金工科、窯業科の製作品陳列場を見た上中央試驗場の試驗室ではいろ／＼な應用化學の實驗並びに硝子白磁等の窯業を見た、其他木工科の生徒が建てた百七十圓の家屋と二百四十圓の建物とは「廉い／＼」と

誰れも感嘆して

げつたやうであつたがお終ひに總督は如築中の校舍を打ち眺めながら「日本では化學工業の試驗的工場には一千萬圓も要るといふとむやが朝鮮では僅か十四五萬圓で恁麼ものが出來るからなう……」と傍の塚田大佐を顧みた。

◉盛大なる記念會

海軍記念日の水交社　皇太子殿下の台臨

二十七日は日露戰役に於て我が聯合艦隊が露國波羅的艦隊を殲滅したる記念日に付當日は海軍一般に休暇を賜ひ築地水交社にては例年の如く盛大なる記念會を開き正午より東伏見宮依仁親王殿下を初め奉り華頂宮伏見宮の各殿下を初め奉り井上東郷の各元帥片岡伊集院出羽の各軍事參議官其の他海軍武官同相當官七百餘名參集盛なる祝賀會を開き東郷元帥の發聲にて兩陛下及び帝國海軍の萬歲を三唱し當時の司令長官東郷元帥參謀長加藤寛治を中心として懐舊談を試み午後二時に至り皇太子殿下には海軍中尉の御服裝にて入江侍從長以下の供奉員を隨へて台臨あり餘興の一なる國技館大相撲を御覽ありて午後四時頃還啓相成りたり（東京特電）

◉海軍記念日祝賀

帝國在鄉軍人會京城分會にては二十七日南山町本願寺に於て海軍記念日の奉祝並に懇話會を兼ね會員百餘名參集の上午後三時より開會せり席上先般改選されたる役員の氏名及び諸般の報告あり次で總督附武官高橋陸軍大佐の講演あり終つて祝杯を擧げ午後八時頃散會したり

◉袁總統に申わけ無し

住所不定の朴震夏（十七）は昨年十一月中京城染洞居住中自宅に止宿中なりし寺野某が袁總統の肖像と稱する一幅の軸物を所持し居れるを見て是れは程好き商口あり暫時貸し與れとて騙取し同軸を安藤某に對し之れを質つては袁總統に申分なしとて金十五圓に質却して行衛不明となりゐたりしが此程舞ひ戻つた處を遂に鍾路署の手に取押へられたり

◉毒草に命を取らる

全南潭陽郡古泉面碧邑内柳姓女（十二）は伴の郷果當（十）及び他二人と共に二十二日與等山へ摘草に赴き山頂にて同行者と別れ母子二人は下山の途に就きたるまゝ翌日に至るも歸宅せざるより各方面搜索中廿四日に至り與等山にて母子二人とも朝鮮人參の如き草根を食して死亡せるを發見せしが右は光州署へ屆出でたるより警官出張檢死せしに全く毒草の爲め死亡せしものと分り死體は家族に引渡し毒草は光州に持歸り慈惠醫院にて試驗中なり

◉生蕃物語

＝頤鬚を拔き取る優男＝

男は額に王字形の黥　女は額に一筋の刺青

調味には食鹽と唐辛＝

土地調査局調理課長　工藤壯平氏談

此の男は一人前の男で有るか否かと云ふ事は額に王字形の黥の有る無しで判る昔は此の黥を許されるには人間の首を一つ取つてからでなければ許されなかつたが此頃では狩獵に出て獸を獲れば之れを人間に代へて王字形の黥を得る事を許される女も成女期に達すると額に縱に一筋の刺青をする嫁入すると更に兩耳から口端の左右迄

□太く濃く刺靑を

施す蕃社の中には刺靑を職業にして居る女が居つて此の者が木片の一端に幾本もの針を叢束したものを拵へて其針の先に木炭を付けて皮膚を刺すのであるサイセツト及びパイワンの蕃人は胸又は背中に刺青して居る者が多く此れは一種の裝身であるがタイヤル、ブヌン、ツオーでは前歯を拔く慣習がある歯は門歯又は亞門歯等を多く拔くが之れは何んの爲めで有るかと聞いて見ると斯うして前歯を拔くと

□顏に愛嬌が出て

來ると云ふのであるが生蕃の顏に愛嬌も面白いが矢張り彼等の仲間内では斯んな事も氣にして居ると思はれる歯を拔くのは子供が七八才頃に成ると其の父母が拔き取るのであるが其の方法は實に亂暴なもので其の拔取る歯牙に木片を當て、鉈の峰で打ち取るか又は强い麻絲で歯を縛つて力任せに拔取るのであると云ふ又耳飾を付る耳朶の穴も子供の頃兩親が

□糸を付けた針を透

し小穴が出來てから更に太い針又は竹などで何回も穿つて隨分大きな穴をも明けるそして種々の耳飾をして居るものがある又ブヌン、ツオー、タイヤル族は顏を美しく見せる爲めに男女とも眉を細く作る習はしが有る又髯の蓬々と生るのを氣にして指先に灰を付けて頤鬚を拔き取る優男も居る。之から彼等の食物に就てお話しする彼等は肉食もするが主として

□穀菜を食して居

る。陸稻、粟、黍麥、甘藷、黍等の粥は彼等の常食である副食物としては獸肉野菜木の芽等である調味には食鹽又は唐辛を用ひて居る山上に住居して居る種族が麓の方に住んで居る蕃社と喧嘩をすると彼等は自然鹽の輸入を絶たれる斯んな時には彼等の調味は一切唐辛である。獸肉の料理は先づ獲物を家へ持つて歸つて

□其の首を打落し

生血を絞り出して之れを呑み後腹を割き臟腑を引出し其の肉は多く煮て食べるが獲物の多い時には家の中央に設けてある爐上に竹の棚が作つてあるので其の上に肉を載せて燻肉として又は鹽漬として保存する事も知つて居る皮は乾して彼等の爲めには衣服とし交易品として大切なものになる食事は多く二食である大抵

□手で摑んで食る

が稀には木の匙を用ひる處もある間食としては餅だとかバナナ、李、檨子などを食べるツオー族は熊と豚の肉は或迷信の結果食べぬ事に成つて居る此の族は鷄、牛の肉でも家の中では穢れると云ふ迷信で決して煑ない鍋も肉を煮る鍋は別にして置いて屋外で煮て喰べて居る鹿、猪等の頭は大切に屋内の一部に設けて有る骨堂に納める此の骨堂は極めて神聖の處として婦人をば穢れとして決して骨堂に近付けぬ。

◉鬼夫婦の公判

事實を否認す

釜山臨田別莊番人酒井富三郎を慘殺せし强盜申木又夫婦に對する公判は二十七日釜山地方法院に於て開かれ裁判長の審問に對し被告は事實を否認せり上野辯護士より四名の證人召喚を請求したれども却下せられ裁判長は六月三日次回開廷を宣し十二時三十分閉廷す（釜山特電）

◉學生賊を働く

京城花洞居學生金奎運（二十）は本月九日夜自宅に下宿し居れる同じ仲間の崔士烈所有の銀側懷中時計一個を窃取したるを手初めに外四名の學生の所有なる周衣、靴等を窃取したる爲め鍾路署に引致されたり

◉大雹降る

長春の天候險惡

二十六日午後六時三十分長春に天大の降雹あり大なるは直徑一寸重さ三匁に達す二十年來無き事なりと猶時にして雨となりたれば農作物には被害なからん近來滿洲は天候險惡なり（大連特電）

◉海軍卒業飛行

海軍航空隊第六期生卒業飛行は愈々來る二十九日及び三十日の兩日に擧行し是れに使用する機體及び航路は不日公表の筈にて母艦若宮丸は右警備の爲め二十八日横須賀拔錨清水灣に向ふべし（東京）

…服飾第十數點を竊取せしこと發…かれたるが兩親は何れも貧…

…錫鎔（四〇）は本年三月中慶尚…洞関大植…東谷面新基里李士伸は十九日同面…

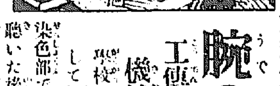
◉今日の日曜

遊ぶに忙し

日曜の廿八日は遊覽になか／＼多忙な日曜である、先づ工業專門學校の製作品陳列會を始め新緑の郊外を探るもよしまた午前十時から明月館に小石氏竹西女史の書畫會を見るもよし朝鮮銀行前の才津氏作品展覽會、京城ホテルの辻氏洋畫展覽會等を見るも興多きとであらう

腕の人

工專の機械實習場



學校での織物は主として鮮人向の實用品染色部で染料のはなしを聽いた後お隣の機織實習場へ行つて見る、昔しばなしに出るお媼さんの絲操車は春の日永にビーン／＼とやつたものだが此處では天井から下つた調革の力で一齊の機械が百人あまりのお媼さんよりよけいに働らく、大きな絲束から管にまく仕事、管からこいて小さい絲を二三本撚り合せる仕事

すべてが迅速な機械の力で見る／＼間に出來あがつて了ふ、機織場はまたガチヤ／＼ガチヤ／＼と梭の響き「此の生徒は今春入學したばかりの一年生で今いろはのいの字を勉强中」との井野主任のおはなしに見れば一人の生徒が危い手付きでガチヤ／＼ガチヤ／＼と木綿の機を織つて居た、お隣はまた稍々巧みになつた生徒の新羅織室で、ほぐし織りの模樣入り座蒲團が今しだん／＼織られて行くところであつた、模樣は

機の經絲のまゝに聯なつけてだん／＼と絲絲を綴つて行くのである、次にまた管巻機械や撚絲機械の響き渡る傍には頻りに模樣の意匠を凝らしつゝある二年生も居たが特にタウエルは此の學校特有の白石技手考案工夫式といふので織られてあつた、其の他複雜したジヤツカード機では二年生の紋樣入り官紗が織られ、黄色な柞蠶の大幅は調革のかゝつた力織機でバタ／＼織られてあつた、お終ひに

織り上げられた製品を見ると工業傳習所の新羅織は鮮人の用ゐる麻布代用の周衣用もあり内地の透綾とまがう苧麻地もありまた蚊帳地に最もよき海地のものもあつた、其の他薄い棉條紗といふもあれば柞蠶と綿交りの甲斐絹地もあり、莞草簾、莞草チヨツキ地等いろ／＼な織物が並んで居る、殊に珍らしいタヒラギ織といふのは麗水灣で採れるタヒラギ貝の毛を採つて織り出した珍品

其の珍らしい光澤は帽子やチヨツキ地には頗る面白い

ものであつた、學校での織物は主として鮮人向きの實用品を主として居るが現に支那から輸入されつゝある百萬圓の織物も此處の苧麻織によつて代らせようとの意氣込みであつた（なほり）

廣告

今二十八日午前十時より明月館に於て楊小石竹西女史兩畫伯の作品展覽會を相催し候間御繰合是非御來觀の榮を賜り度御案内申上候

管業者　佐佐木骨董店

懸賞　讀者文藝募集

＝六月一日から發表＝

暫らく中絶して居りました懸賞讀者文藝を今回復活することになりました、規定課題は左の通り六月一日から毎日續けてゆく積りですから奮て應募されんことを望みます

▲應募規定　一、用紙は郵便葉書に限り葉書一枚に各課題を一題めに送稿するものは無効一、紙上匿名は差閊へなきも住所氏名は明記の事一、應募宛名は必らず京城日報社讀者文藝係りと記されたし

▲賞金　一等一名に對し額面五十錢京城日報代理部圖肉切符を贈る一、[illegible]一週間後一、剽竊と認むるものには送賞を停止す一、剽竊發見先着者に賞金を送る

▲課題　讀者文藝の課題は左の如し

狂歌『獨逸』	締切廿九日	發表一日
都々逸『日傘』	同 三十日	同 二日
川柳『笛』	同 卅一日	同 三日
物は付『涼しいものは』	六月一日	同 四日
一口噺『朝鮮に因めるもの』	同 二日	同 五日
謎々『支那の戰爭』	同 三日	同 六日
ヘメ繪	同 四日	同 七日

京日案内

普通（一回特に金三十錢無料引　匿名一回毎に金五錢増）
番外（一回前金六十錢無割引　匿名一回毎に金五錢増）
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

▼篆隷の習字帳　現代の書翰文▼等色々新荷着　本町二電二五二七　◉ウツボヤ書店　158

◉貸家　黄金町三ノ三〇二番　黄金湯向　日本建關前にて官吏に適す　瓦斯水道付　家賃十六圓　電九八九番　大島　261

有給外務員採用　最も高尚の事業　希望者履歴書携帶本人來談あれ　京城花園町一二三　帝國圖書普及會支部　405

◉古本高價買入　繁堂の勉强是非御試買を乞ふ御報即刻參上　▲京城本町一　書肆　群書堂　199

◉貸家　煉瓦造二階家　敷棟低賃にて貸す　京城長谷川町五八番地　ゴルシヤルキ　491

▲キヤラメルは……滋養に富む　人參キヤラメルに……限る　京城藤商會の……　413

昆虫及植物採集用具特價販賣　京城壽町四〇　電話三二七六　回天堂教育品部　421

◉貸家　鍾路警察署横仁寺洞二五五　日本建　官吏會社員向　家賃格安　使用の便あり　電話二四三六　井村　488

雜誌巡廻讀會　新古圖書雜誌　交換▲割引▲買入　京城本町一　松井松榮堂　電一三七八　492

◉古本なら野村　買入誠實御報參上　京城本町一丁目（明治町筋）　電二六三六番　野村書店　142

竹木陶器大理石銅眞鍮化學應用無刀彫刻法傳授　寄圖送れ直に郵送す　大田（大田座前）　石原米藏　455

番外

荒物食料雜貨　京城黄金町三丁目水標橋通入　井上商會　電話二八六番　前記へ移轉諸品取揃へ勉强仕候　36

細菌學應用　純粹糖化の嗎物あり絶對無效力　玄米糖化卒先者にて於東京釀友會關東釀酒大會一等賞受領　玄米乳　京城新町414　藤齋製乳所　416

礦物定量分析　京城大平通二ノ二三五　坂元分析所　電話一三四四番

恩給年金類立替　京城本町二（京城銀行横小路）　吉田屋　485 437

六月一日三百名限　中風脚氣　無料灸治　マッサージ　花園町木町電車終點　長生堂治療所

恩給年金退隱料何年分でも特別御便利に御相談仕候　京城若草町百六番地　西村商會　149

はねつぎ（うちみ・くじき）等　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場　150

各病院眼科器用達　眼鏡專門　宮川大學堂　京城黄金町　振替京城壹壹武九　160

皮より强い値の安い　專賣　柳製德用鞄　京城本町一丁目　高木旅行用具店　167

東京中川式懐中電燈　魔法マッチ　御小賣　電池の强力付製品と比較を乞ふ　黄金町電二九十八　口座京城壹武壹九　川合時計店　186

京城春川間自働車運轉　京城南大門通一丁目二十二番地　京城發午前八時。春川發午前九時　廣橋　京春自働車組　主務金正淵　電話二一九番

大正五年の新事業！　薄利にして丁寧迅速なるは當所の特色！　龍山漢江通り十一番地　諸器械其他金物類一切　五龍鐵工所　所主大高虎吉　電話六三六番　土木建築業諸兄は特に御愛顧を乞ふ

浴衣地大賣出し　六月一日より五日間　流行品豊富な取揃居候其他見切品澤山　京城本町　丸一吳服店　電六三五　一〇九一

外務社員を採用す　中學卒業以上の學歴を有し年齢廿五歳以上の熱誠なる奮鬪家を要す　希望者は速かに履歴書を送れ面談日及採否は調査の上通知す　京城黄金町二丁目　有隣生命保險株式會社朝鮮支部

京城本町二　村木時計舗　電話四七一番

…り逃走中の犯人たる鄭を搜査中光州近く知人の宅に潜伏せる所を廿三日夕方逮捕したり

千生瓢 (224)

須藤南翠作 筒井年峰畫

瑞龍寺(三)

稻葉入道一鐵は、眼に浮ぶ涙を拭ひもやらず、更に語を繼いで

「入道が年老ての愚痴かは存ぜぬが勝入齋が此度の中入には、心中の苦慮するに餘りあるものがおざつたらうと、老人は考へ申すよ」と涙を啜つて語り出した。

秀吉は頻りにうち點頭いて

「その苦慮は入道ばかりでない、我等とても一方ではなかつた。ぢやに依つて、三州亂入の企て、引留め申したなれど、何がさて入道が一圖、是れをも許さぬに於ては、美濃侍を誘うて北畠殿へ反忠もしかねまじい血相、其故に目を瞑つて許した次第ぢや」と何樣苦しかつたやうに、深い太息を吐くのであつた。

「其處でおざるぢや、其の双方の掛酌が、此の敗軍の基おざる。入道は織田殿の乳母子、乳兄弟の親みあるに依つて、縱令北畠殿の無謀を見限つて、御味方に參るとも、貴殿には腹心として扱はれまい。さらば、今度の一戰に於て、拔群の功を立て、十分貴殿の重倚を得ようと存じて、功名を焦燥つた次第おざる。進んで犬山を陷したのもそれ。羽黑の八幡林の手合せもそれ。然るに此手合案に相違して、敗戰の恥辱を得たので益々大功を建てねに於ては、貴殿の疑惑を釋かれぬと存じたので、三州亂入の一策を案じ出いたのでおざるに依つて、此敗軍の罪を引受け切り開くべく血路を開かず、父子一つ所に討死致いておざるわ。聟めが戰死を不愍と思召すからは、入道父子が心をも推量して、古新の家督は相違なく許させられい」

斯人よりして、意を抂ぬ行爲をば一徹と言ひ習はした程の、硬骨無二の一鐵入道が、齒に絹被せず言ひ出した上は、縱令秀吉にいかなる理由があらうとも、承知させずには置くまいと思はれた。

其時秀吉は手を振つて、入道の辭を支へた。

「叱ッ、叱ッ、川の南から一隊の人馬が參る、あの夥しい砂烟を見させられい」と鞭を揚げて指した。

「實に眞、正しく小牧山より、長湫への加勢と相見ね申す」

一鐵入道も籠手を翳して彼方を見ながら、早速に對へをする。

「あの砂烟のやうを見るに、よも一千騎には及ぶまい。僅ばかりの小勢を以て、我が大軍と相並んで馳する者、三河に於て何といふ侍ぞ。助作きつと斥候致いて來い」

秀吉は馬廻りを顧みて、身近に從ふた片桐助作且元に申し付けた。

「はッ」と對へると共に、鞭を加へて驅け出した且元は、十町ばかり進み出て、馳せ歸つて復命した。

「旗を伏せ、指物を倒しておざりまする。すれば、定かに知れませねど此手の大將は、鹿毛の太く逞しき馬に黑鞍置き、黑絲縅大荒目の甲冑に、鹿角の前樹うつて頂き、一尺有餘の穂長の槍を横へて、人も無氣に振舞ひまする處、聞き及ぶ本多平八郎忠勝かと存じまする」

「何、平八郎に似た侍と申すか。入道は姉川に於て、眞柄十郎左衞門を討ち取つた、本多平八郎を見識られぬ事はおざるまい」

秀吉は且元の報告を聽いて、之れを一鐵に尋ねた。

「能く存じ罷り在る、彼當年は二十三歳の血氣者でおざつたが、今は三十七歳にも相成らう。片桐申さるゝ樣子、慥かにそれと存じ申す。殊に鹿角の冑、當年よりの彼が自慢の一つでおざつた」

一鐵入道は斯う言ふうちにも、漸次に近く其敵を見るのであつた。

「其手の人員は何れ程ある。續く兵は見かけぬか」

秀吉は重ねて尋ねる。且元は畏まつて、

「人數は彼此三四百もおざりませうか、夫をば三手に分け、陣立堅固に打つ氣におざりまする。其後よりも大凡同じ程の人數、後れじと打ちまするものおざりまする。總勢凡そ七八百、千騎とはおざりませぬ」と明らかに言上する。

秀吉は首肯いて尙も馬を前めながら、絕えずこの敵に目を屬けてゐたが、三萬の大軍は、陣列正しく瑞龍寺川の北に沿うて、堂々として進み行くに、彼の敵は南の岸に馳せ著けて僅に四五町の距離を取り、相並んで進みつゝ、大將が鹿角の前樹は、常に秀吉が乘馬と立ち並んで、傲然として打つのであつた。

京城大和町三丁目(不老泉舊川端)
中谷內科小兒科醫院
電話一〇三三番

婦人科 產科
京城壽町四一
二宮醫院
醫學士 二宮亮吉
電話一二〇一番

日本一 創業三百有餘年
清酢 マルカン印
各地到る所の酒醬油店に販賣せり
特約店 日本醬油株式會社出張所
京城太平通二丁目 電話二四五番

新刊紹介

▲日本警察新聞(三六八) 五錢東京市芝區愛宕町二の一四同社

▲實業之養蜂(四) 五錢岐阜市下竹町九六同社

▲今樣(六月號) 定價不詳東京市神田區鍛冶町二四松屋呉服店

▲生活の力(四四) 一錢東京市京橋區木挽町六の一〇生活社

▲通俗電氣世界(一四) 五錢東京市麹町區有樂町一の三電氣世界社

▲英語精習(二の六) 十二錢東京市芝區南佐久間町一の一其社

▲警務彙報(一一九) 例規欄に宿舍支給に關する件、宿屋、料理屋、飲食店、藝妓、酌婦、藝妓置屋、貸座敷、娼妓等に關する取締規則取扱心得娼妓、藝妓、酌婦の健康診斷に關する件其他を掲載せり(十五錢朝鮮總督府警務總監部)

▲改定再版大正錢譜年代及價附 日本朝鮮、支那、安南等の有孔古錢數百種を實物の大さに表はし其れに年代及び時價を記せるもの(三十五錢大阪市東區內本町二の一宗穗堂支部)

▲拓殖新報(五月號) 主なる記事は共濟會と統治政策改正論男、國際關係は大なる力なり仲小路廉、日露同盟と對滿策鐵爵生、戰爭と我商工業戶水寬人、外數名其他(廿五錢東京市京橋區北紺屋町四其社)

▲確實有利金儲策 農家の副業又は家庭內職小工業に關し有利なる實行し易き事業仕方數十を錄す四六版百八十頁紙製(六十五錢東京市本郷區湯島天神町一の八七餘文館)

▲正則中學講義錄(一の四) 會費一箇月五十錢東京市神田區駿河臺袋町大日本國民中學會

▲銃獵界(二二の五) 十二錢橫濱市本町二の二一金丸銃砲店

▲道之友(五月號) 十五錢奈良縣丹波市町三島八〇其社

▲適齡者必携兵役須知「一名兵役の眞意」 兵役を以て個人に課する不生產的勞苦なりと爲す者は本書を讀め軍隊を現世の別天地と思ふ者は本書を讀め(二十五錢東京市赤坂區表町二の一兵事雜誌社)

▲婦人之友(現代風俗號) 現代風俗の觀かた、常行奇行怪行、男子と女子の愛育、人さまざまの畑間、テーブルでたてる御茶其他婦人社交界に興味ある話柄家庭に於ける實用的新記事を以て滿せり(二十錢東京市雜司谷上り屋敷一一四八其社)

讀者の領分

小生は京城にほしいものが澤山あります貴社の投票は大贊成です今度は京城で住居として一番好い土地の投票を願ひたいです(判任官)▲琴のお稽古も好いでせうが朝から晩迄引つきりなしにコロリンシヤンでは近所が迷惑殊に時々笛との合唱は澤山やられてはやかましいチトお愼みなさい(米倉町の住人)▲まだ市中に此の氣候になつてもストーブの煙筒を除けない家がある煤煙が飛んで來て困る(西大門町)▲蠅の驅除は今の內に大にやらねばならぬ蠅になつて飛び出して騷いだつて最う遲い(市の衛生組長)▲漢陽公園に掛茶屋が無暗に出來ては折角の風致を害する現今より繁殖させぬが好い(散歩生)▲北米倉町の下水の上は道路と並行して居るから最う少し手入をしては何だまごく/\して通るとおつこちる此間も小供が一人落ちて大騷ぎをして居た(毎日通行子)▲古市町に天理教の信者でありながら天理に反いて居る夫婦がある同教の爲に惜む(仁丹)▲東京相撲は何時頃京城に參りますか早く來ないでせうか(角狂)

商況

大阪期米特電(廿七日)

▲廿七日後場(明、名畑、弱きも氣配[illegible]に買氣孫はず[illegible]引き成行なり)

	當限	中限	先限
寄付	—	—	一三、九三
高値	—	—	一三、九四

▲後場寄付十四圓二十一錢[illegible]

▲更に動かず 大阪の[illegible]きより十二圓二十七錢[illegible]に七錢と[illegible]寄付は[illegible]其他[illegible]

▲現物界 十錢[illegible]五圓[illegible]稻六圓七十五錢[illegible]五圓安[illegible]

▲正米 [illegible]

京城 [illegible] 寄付 止め 高値 安値 [illegible] 十一圓二十七錢 十一圓二十八錢 十一圓二十六錢

●不埒なる雇人 京城壽昌[illegible]德面朴用方へ去る二十日午前二時頃二名の強盜押入り棍棒及び炊事用庖丁[illegible]

●猿犬子供を咬む 去る廿日平壤府[illegible]

●三兒を產んで死す 京城苑南洞七番地韓德源妻朴氏(三七)に二十六日午後一時頃女兒三名を分娩したるが要[illegible]

一千反限り 新柄 奇拔 縞セル 無代女帶地進呈

過去五年間呉服類の斷然安賣にて評判を取つた東京日本橋區本石町壹丁目呉服問屋關谷商店にて今回地質の丈夫にて柄合の新奇拔なる一見舶來本毛十圓の品にも負けぬ東京流行縞セル一千反限りの投賣を始めたが而も勿論一反タッタ一圓九十五錢特別上製一反タッタ二圓五十錢と云ふ法外な丸で只の樣な馬鹿値に投出し且賣出し紀念として優美高尙なる京西陣製の新博多女帶地をセル一反の注文每に一筋宛無代進呈をなす殊に見本切は流石に用途の廣きセル地の事とて日々大評判を見る所以也因に地方は男女別年齡を記しハカキにて申込は柄合親切に選び金引替送料も實費で送る由

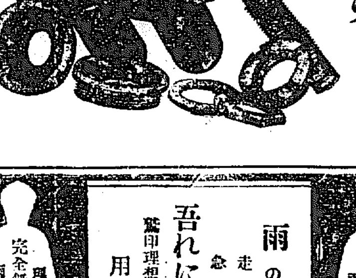
わさび
にて今迄彼是と藥を用ひ効なき方はファーザー藥價三十錢六十錢を一度お使用あれ一圓注文は前金の事郵送料不要
京城黃金町三丁目 山田文殊堂藥房

記念在京十週年
萬染物悉皆 洗張並に洋服色揚
歐洲戰亂之爲染料暴騰高價の處十周年自祝の爲特別大勉強を以て從前之通安價に染揚可致候間御引立之程御願申上候
京城本町二丁目有樂館横 眞月染工場

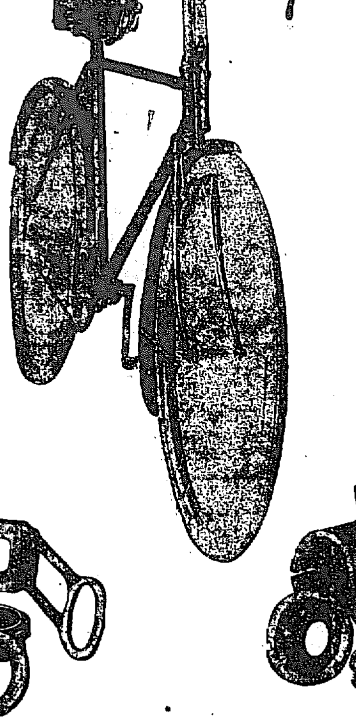
京城本町四(櫻井町角)電話二三三四
七星堂醫院
內科 小兒科 梅毒 淋病 皮膚病 外科
院主 醫師 鈴木慶一
醫師 垣田精一
醫師 淵上誠

村井弦齋先生發見
胃腸病胃癌妙藥 タラコン湯
藥價 一週分一圓(送料) 二週分一圓九十錢(拾錢)
最近實驗者の報告
今日にては殆ど全快に均しき容態と相成喜び居候云々 朝鮮大邱東門町五ノ三 徹雄
病氣は大分宜敷なりました貰藥は奇妙不思議であります 釜山西町二丁目十七ノ十三 辛島茂一郎
服藥三日目より甚だ宜敷食物も次第に進み大喜びに候 羅州郡細枝面東申里 神谷勘次郎
御蔭にて腸の工合非常に心持宜敷候更に二週間分御送被下度 慶州郡松波鑛業兵派出所 中川直三郎
藥効確實 診療開始 需用激增 工場新設
東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園 振替東京二〇〇二

◆全鮮を風靡せるベロース號の勢力は其名の如く駿速なり
登錄商標
堅牢無比なる ベロース號 三ケ年保證付
(クランク部分)



絕對責任



◆萬人の仰望せるアイデル號の眞價は其名の如く理想的なり
登錄商標
輕快雄美なる アイデル號 三ケ年保證付
(ヘッド部分)

◆嶄然頭角を拔いて群車を睥睨せるリーダー號は其名の如く輪界の指導者なり
登錄商標
米式實用專用車 リーダー號

自轉車及附屬品直輸出入並卸商
京城南大門外 橫山商會京城支店
電話一八七五番 振替口座二三〇七番
本店 神戸磯上通八丁目

特約店(イロハ順)
大邱 井上自轉車店
金堤 稻垣自轉車店
淸州 岡田自轉車店
井邑 村井自轉車店
沙里院 屋敷自轉車店
京城 美濃屋自轉車店
全州 島自轉車店
釜山 井上自轉車店
平壤 池自轉車店
平壤 金池自轉車店
大邱 牛島自轉車店
元山 藤本自轉車店
釜山 宮崎自轉車店
海州 首陽自轉車店
群山 稻垣自轉車店
京城 德昌號本支店
木浦 村上自轉車店
江景 能見自轉車店
淸津 藤元自轉車店
天安 箕田自轉車店
群山 福岡自轉車店

雨の時 走るに及ばず 急ぐに及ばず 吾れに安心あり 鷲印理想的雨具の用意あれば也
理想的完全無比の雨具 見本定價表送 神田龍閑町 村島友三郎商店

タングステン
用手廻鑿岩機及大マグネット中根式鑛山機械は始政五週年記念物產共進會に於て賞牌一等狀三を授與され朝鮮唯一の鐵工界に於ける最初の受賞者たるの光榮を得
京城南大門通五 電話一〇四番 中根商會

故ウノ 葬送の際は態々御會送に預り難有御禮申上候混雜中手違の御名前洩れ可有之存候に付以紙上御禮申上候
五月廿八日 榮亭森本マサ 森本留次

故西岡恒二郎 葬儀の節は遠路御會葬被下難有奉鳴謝候混雜の際芳名洩れも難計候に付以紙上御禮申上候也
大正五年五月廿七日 妻 きん 親戚總代 森篤次郎

店主奧田甚平 儀療養相叶はす死去いたし候間此段辱知諸賢に謹告申上候
五月廿七日 奧田洋服店

電一五六七番 旭町二丁目(京城府廳横)
株式會社京城葬儀社 二川組
靈柩馬車の設備有之候 中河原重吉 井上芳太郎
電話九五七番

葬具一式
造花、生花、花環、寄贈品裝飾品、其他供物一切 親切丁寧は本社の主旨に候間御用命奉希上候
京城永樂町二丁目 大葬社 電話一〇五六番